同窓会報

◆発　　行◆宮城県仙台第二高等学校同窓会　〒980-8631 仙台市青葉区川内澱橋通１　☎ 022－221－5651(直通)
◆Eメール◆info@sendainiko-dousoukai.com　◆ＨＰ◆http://www.sendainiko-dousoukai.com
◆印　　刷◆創文印刷出版株式会社　〒980-0821 仙台市青葉区春日町8番34号　☎ 022－222－0181

第51号

三船十段記念館(久慈市)。資料館(右側)と記念柔道場(左側)を見下ろす三船久蔵氏(中３回)像　　撮影:大井　龍司 同窓会会長

目次

巻頭言・校長挨拶・前校長寄稿……2
支部総会・同期会等開催報告、寄稿……4
理事会からのお知らせ……13
創立記念講演会……14
支部・ＯＢ会連絡先……15
平成30年度 年間行事予定、評議員名簿、
評議員会報告、理事会等記録、ＰＴ同懇のご案内……17
各理事会務分担、平成30年度 同窓会総会のご案内……19
平成29年度収支決算・平成30年度予算（案）……20
会費納入について、
平成29年度 同窓会費納入状況……21
同窓会入会式・卒業式・入学式の報告、
定期戦祝勝会、北陵会・北杜会の記録、
ゴルフ対抗戦の報告、叙勲受章者、寄贈図書……22
過去三年間の大学入試合格状況……24
部活動の記録……25
会員訃報……33
今春の人事異動、Web サイト活性化のお願い、
メーリングリストの利用について、
交通の便、編集後記……34

巻頭言

「ノーベル賞と甲子園」

同窓会会長　大井　龍司（高10回）

私が同窓会長を拝命して以来、その行動目標の一つに生徒達と同窓会の距離を縮めることがあった。そのため現役の生徒諸君と身近に会う度に極力直接声を掛けるようにしているが、その話しの内容はしばしば本稿のタイトル、つまりノーベル賞と甲子園を目指そうではないかという〝檄！〟になる。

昨年、孫娘が学んでいる福井市の県立藤島高校を訪ねる機会があった。その前身は江戸末期の福井藩校明道館（後に明新館）で、幕末の四賢侯の一人と称された第14代越前福井藩主松平春嶽や明治政府の基本方針となる「五箇条のご誓文」を起草した由利公正などもそこで学んだ。因みに同窓会の名称は明新会である。

校内に入るとすぐに目に付くのが同校の卒業生である理論物理学者、南部陽一郎氏のノーベル物理学賞受賞（平成十五年）記念碑である。近頃では、日本人がノーベル賞を受賞すると、その受賞者が高校時代の学び舎を訪れ、それを迎える生徒達を檄励する姿が度々テレビで放映される。願わくば母校仙台二高の後輩諸氏からもノーベル賞受賞者が輩出し、それに続く後輩たちを励まし夢を抱かせてほしいと思うことからの〝檄〟である。そして全国でも稀に見るこの素晴らしいたたずまいの校内、とりわけその歴史の長さと伝統の重みを感じさせる母校前庭にノーベル賞受賞者の記念碑が建立される夢を後輩たちに託したい。

もう一つの夢、甲子園である。母校の硬式野球部は中学時代を含めて過去三回（大正十四年、昭和二十二年、同三十一年）夏の甲子園大会への出場を果たしている。昭和三十一年夏、第三十八回甲子園大会では準々決勝で四国の西条高校に「0対2」で破れたが、二回戦で慶応高校を相手にベスト8の座を争って戦った。その七回、突然の豪雨のため試合が一時間二十分中断、その間ズブ濡れになりながら「雨か嵐か」を高唱しつづけた仙台二高応援団（団長は高9回の麻喜宏雄氏で現関西北陵会会長）のひたむきな姿が横山泰三画伯の目に留まり、その「一コマ漫画」が朝日新聞夕刊一面（大阪本社版では二日前の朝刊にも）に掲載された。それが未だに同世代の同窓生間での語り草になっている。その試合で正捕手であった関口昌男氏（高10回、後早稲田大学野球部）の話によると、雨を避けて地下に待避していた当時の慶応高校野球部OB某氏と旧交を温めた際、某氏が「あの雨中応援の勢いに負けた」と述懐していたそうである。

私は当時二年生であったが、前出の関口君（同窓会報第48号に「それは部員七名から始まった!!」を寄稿）はじめ六名の同級生が甲子園球場の土を踏んだ。われわれ昭和三十三年卒の高10回期生は、卒後二十年後に同期会「三三会」を設立し、爾来毎年恩師の方々をお招きして開催し続けているが（三三会は仙台、東京、東海に存在）、仙台三三会の開会にあたって最初に壇上に招かれるのは恩師、その次が（経済界で名をなしたり学問の領域で業績のある同級生などはとんとお呼びでなし）栄えある甲子園球児達であり、彼らはその後何時まで経っても同級生の誇りであり英雄なのである。

世間では甲子園大会出場常連校を高校野球の伝統校と呼ぶ。私は日頃から、それら俗に言う伝統校が、素質ある中学生を県外遠くから野球留学と称して入学させる風潮に強い疑問を抱いているものである。わが仙台二高硬式野球部がそのようなチームの後塵を拝することなく、全国甲子園大会出場を果たすことが如何に困難であるかは重々承知している。にもかかわらず、私は野球部員諸君に「われわれ同窓生に甲子園球場のアルプススタンドで〝あなたふと　あなうるはし〟と唱わせてくれ」と要求し、「それがもし叶ったら、同窓会で第二グランドあるいは室内練習場を考えなければ」と冗談まじりに言っている。その約束の是非は兎も角、わが母校が是非とも四回目の甲子園大会出場を果たしてもらいたいという願いは同窓生共通の気持ちではないだろうか。

朝日新聞　昭和31年8月17日付
絵：横山泰三氏

そこで結論「文武一道」である。ノーベル賞と甲子園出場はそれぞれの分野や領域での頂点であり、それぞれの道での夢の到達点である。その頂点への道はただ一つ、仙台二高の同窓生たるものは、在校時代のみならず卒業後にも「No Challenge, No Success!」の精神を発揮して、立ちはだかるあらゆる高い壁を乗り越えてもらいたいものである。

校長挨拶

「ごあいさつ」

校長　久保　義洋

新緑が目にあざやかな季節となりましたが、皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動に温かいご理解とご支援をいただき、厚く感謝を申し上げます。

今春の異動で教育庁教職員課より本校に着任し二ヶ月余りが過ぎました。着任前は、伝統ある仙台二高の校長ということで、随分緊

張しておりました。しかしいざ着任して、生徒たちと一緒に生活してみると、そうした緊張はすぐに一掃されました。生徒たちは、こちらからの問いかけに、即座に自分の言葉で反応してくれます。この能力が高く人間味溢れた生徒たちが、授業は勿論のこと、様々な行事などを通して、どのような成長を見せてくれるのか、とても楽しみになりましたし、その成長をどのようにサポートできるのか、と身の引き締まる思いをしております。

さて、満開の桜に祝福されたかのような華やかな入学式、そしてその翌日から、対面式、応援練習が始まりました。新入生にとっては、おそらく中学時代には経験したことのない辛い日々です。しかし、新入生自身は気づいていないと思いますが、こうした経験をする中で、着実に成長しています。私も毎朝、応援練習を見ていますが、初めは全てにぎこちなく自信なさげだった新入生に、落ち着きが出てきました。こうした二高での生活すべての場面で陶冶され、逞しさが増し、「真の二高生」になっていくのだと感じますし、これが伝統の持つ力なのだと思います。

生徒たちを逞しく育てる上で、同窓生の皆さまのご協力は欠くことができません。アメリカ在住の旦英夫様（高20回）からは、前年アメリカ研修に参加した生徒たちに励ましの言葉をいただきました。また五月一日の創立記念講話では、〝鬼太鼓座〟代表の松田惺山様（高28回）から迫力ある和太鼓演奏に加え、人として如何に生きるべきかとの強いメッセージをいただきました。私たち教職員も、変化の激しい社会を逞しく生き抜く、人間的に調和のとれた人材育成に日々努めておりますが、同窓生の皆さまからのこうした励ましの言葉は何よりの力となります。どうか可愛い後輩たちへ、愛情のこもった力強いエールを、今後ともよろしくお願いします。

最後になりますが、二高同窓会の益々のご発展と同窓生の皆様のご健勝をご祈念申し上げまして、挨拶といたします。今後ともよろしくお願いいたします。

寄稿

「退任のごあいさつ」

前校長　長島　勝彦

目にも鮮やかな新緑の季節、同窓生の皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて私こと　この三月をもちまして、宮城県公立学校教員を定年退職いたしました。昭和五十六年、仙台市立西多賀小学校講師として初めて教壇に立ち、最後の勤務地となった仙台第二高等学校まで、中学校二校、高等学校五校で学校教育に携わり、その内九年間は教育行政にも関わらせていただきました。三十七年間の教員生活は、時代の変化と共に様々な学校改革が次々に求められる中、答えを容易に見いだせない課題も多く、自分自身の力不足を感じる日々でしたが、やり甲斐もあり、充実した歳月を過ごすことができました。それも、素直で明るい子どもたちに囲まれ、保護者や同窓生の皆様、地域の方々から温かいご支援をいただいたことや使命感に溢れ、人間性豊かな多くの先生方と出会うことができたお陰と心より感謝しております。

仙台二高での勤務は二年間と短いものでしたが、私にとっては日々新たな驚きや感動があり、良質な経験が凝縮された大変貴重なものとなりました。生徒諸君は部活動をはじめ様々な分野で活躍し、県や全国といった高いレベルのステージでも臆することなく果敢に挑戦を続けてくれました。素晴らしい結果も数多く残し、二高生が持つ高い能力、可能性の大きさを存分に示してくれました。進路面においても、高い志のもと、目標を達成するため、ひたむきに粘り強く勉学に向き合い、東北大学をはじめ難関大学・学部への進学実績は高い評価をいただいております。このように二高生としての自覚を持ち、「文武一道」を体現、実践すべく日々努力を重ねる姿は、校長としても大きな誇りでもあり、私自身が前に進む勇気を与えてくれるものでした。

また、大井龍司同窓会長様はじめ同窓生の皆様には色々な場面でお心遣いをいただきました。多様な分野で活躍されておられる皆様との出会いは、私の知見を大きく広げてくれる楽しく有意義なものでした。昨年の夏には、百二十周年記念事業実行委員会が発足しました。皆様には、平素から多大なご支援をいただいておりますが、記念事業でも、その一環として、懸案であった生徒用個人ロッカーを新しくしていただき、ＩＣＴ環境の整備もご了解をいただきました。生徒諸君が恵まれた教育環境の中で、充実した高校生活を送ることができるのも、このような同窓生の皆様からのご支援があってのことと強く感じております。あらためて感謝を申し上げます。

ＩＣＴをはじめとした施設の整備や高大接続改革と連動する探求活動の推進といった教育活動の改善など、いくつかの大きな課題を、道半ばのまま新しく着任された久保義洋校長先生に引き継ぐことになり、心苦しさも感じております。久保校長先生とは、以前同じ職場で仕事させていただいたこともあり、豊かな教育経験と見識をお持ちになった大変有能な先生でありますので、さらなる二高の発展にご尽力いただけることと心強く感じています。私同様、同窓生の皆様からのお力添えをよろしくお願いいたします。学校からは離れましたが、私も陰ながら二高生の活躍を応援して参りたいと思います。

末筆ながら、同窓生の皆様のご健康と益々のご発展をご祈念申し上げ、御礼と退職のご挨拶とさせていただきます。二年間本当にありがとうございました。

支部総会 同期会 等 開催報告

支部総会報告

東海北陵会の最近の活動

佐山　泰弘（高10回）

第二十二回総会・懇親会

平成二十九年十一月十一日（土）に、名古屋市内で第二十二回東海北陵会の総会・懇親会が開催された。

長島校長先生はじめ、阿部同窓会副会長、鈴木事務局長の三名をお迎えし、高4回～高27回の皆さん、計一八名が参加して、総会・懇親会が開催された。

会長挨拶・来賓紹介に引き続き、決算報告、役員選任、会勢報告などの議題が審議され、いずれも、原案通り、承認された。

総会後、出席者の最高齢である山岸俊一さん（高4回）の音頭で乾杯し、懇親会に移行した。

暫し歓談が行われた後、長島校長先生から「平成二十九年度仙台二高概要」の資料をもとにした、校内活動の詳細な紹介があり、多くの生徒が授業、学力、部活に留まらないで、自分の興味あるものに果敢に挑戦し、自分の世界を広げている様子が充分理解できた。

次いで、阿部副会長から「仙台二高同窓会の概要」の資料をもとに活動の紹介がなされた。特に、若手の活躍で、従来以上に活性化されている事や、PTA・学校と同窓会の距離を短くするために様々な活動に力を注いでいる等の紹介がなされた。

更に、鈴木事務局長からも、自己紹介を中心とした挨拶があった。

各自テーブルに次々に出される料理と飲み放題のアルコールを堪能しながら、会員同士の和やかな歓談が進められた。

歓談の途中、話題提供として、久保重明さん（高8回）による「豊かに生きる My Dear Life」と題した資料をもとに、過去の生活経験を披露しながら、目的を持って生きる事の大切さや、楽しく好奇心を持って生きよう等の紹介があり、快適な生活の心得の伝授がなされた。

懇親会の最後には、鈴木克彦さん（高16回）の指揮のもと、全員で「雨か嵐か」、「凱歌」と「校歌」を歌い、有意義な総会・懇親会を終了した。

第 22 回総会・懇親会参加者

ランチタイムコンサート

平成二十九年七月十日（月）に岡忠男さん（高9回）の企画で、名古屋市中区の宗次ホールで開催されたランチタイムコンサート「ヨーロッパの恵み名曲フルコース」の鑑賞会を実施し、有志九名が参加した。

ソプラノ歌手の「つじ村ふみ恵」、メゾソプラノ歌手の「粟田藍」、ピアノ奏者の「古田友哉」の三氏の共演で、一時間という短い演奏会ではあったが、イタリア国歌をはじめとし、歌劇蝶々夫人より「花の二重唱」まで、九曲の独唱、合唱、ソロ演奏を堪能する事ができた。途中、ヨーロッパ料理の紹介もあり、有意義な時間を過ごす事ができた。

行事終了後、名古屋中区役所構内の居酒屋で懇親会が行われ、十分なアルコールの助けを借りて、色々な話題で盛り上がり、貴重な昼の半日を終了した。

コンサート会場の前で

岡崎城周辺の散策

平成三十年三月二十八日（水）に石垣秀生さん（高10回）の企画で徳川家康ゆかりの岡崎城周辺と菩提寺である大樹寺を散策した。

いずれの観光コースでも、石垣さんの計らいで、地元の観光ボランティアの解説が付き、通常では見落としがちな展示物を興味深く観察する事ができた。

散策後、駅前の居酒屋で懇親会を開催した。この店は、一昨年、ノーベル生理学・医学賞を受賞した大隅先生が、岡崎勤務時代によく通った店との事で、人気があり、沢山のお酒と料理を前に全員が楽しく懇親の場を持つ事ができ、有意義な一日を終了する事ができた。

岡崎城の前で

第二十回 関西北陵会

川幡　公章（高26回）

関西地区在住大学生の研究発表を実施

平成三十年三月十日（土）大阪市北区　大阪OPAタワーにて第二十回関西北陵会を開催いたしました。

仙台から長島勝彦仙台第二高校長、大井龍司会長（高10回）、山田信一副会長（高17回）鈴木利明事務局長（高31回）をお迎えし、関西在住会員二十名　合計二十四名の盛会となりました。

今回は、本部から頂いた名簿を基に新たなメンバーにご案内させて頂いたところ、五名の方に新規

参加頂けました。潜在的には、同窓会に関心を持って頂ける方がいらっしゃる事を知り、今後の広報活動の必要性を認識しました。

総会では、校歌を斉唱し、東日本大震災の追悼及び物故者のご冥福をお祈り。

麻喜宏雄会長（高９回）の開催の挨拶、長島校長から母校に関するご報告を頂き、大井会長と山田副会長、鈴木事務局長から仙台二高同窓会の状況についてご報告頂きました。母校の文武にわたる活躍を頼もしく思いました。

今回は、新たな試みとして、関西地区の大学に進学した、本橋優香さん（高65回：阪大大学院工学研究科）と大山千春さん（高66回：京大農学部４年）に、ご自身の研究内容の発表をして頂きました。（発表二十分、質疑十分）

それぞれ、生命誕生のプロセス（自然原子炉）、蚕の蛹化プロセスのお話であり、我々の生活に直接的に関連する事が少ないテーマではありますが、自然界の謎を探る興味深い研究でした。二人共、周到なプレゼンの準備を行い、わかり易く説明してくれました。プレゼンターと質問者の間で、適切な質疑応答が続いた事は、立派でした。お二人にとり、研究領域以外の方に自分の仕事を説明する良い機会であり、今後の研究の進め方に関し、沢山の助言を頂くことが出来たと喜んでいました。

生命誕生究明のお話はロマンチックであり、蛹のお話は高校時代を含む青年期の教育の重要性を示唆するものとして、皆さんから高い評価を頂きました。次回以降も、何方かに研究発表をして頂ければと思います。

懇談会では、今回新たに参加された、井上晃さん（高14回）、鈴木武さん（高20回）、遠藤秀治さん（高22回）、二瓶聡さん（高30回）、村上保之（高33回）の自己紹介がありました。

また、久々に参加頂いた元会長の星三男さん（高６回）、九州北陵会の設立を準備中の菅原俊秀さん（高10回）、高松から参加頂いた渡邊安男さん（高17回）の近況報告がありました。皆さんそれぞれのお元気な姿を拝見させて頂けました。渡邊安男さんには、四国北陵会の設立についてお願い致しました。

黄鉄鉱の液中レーザーアブレーションによる鉄含有クラスタの生成
大阪大学大学院工学研究科
本橋　優香（高 65 回）

Broad 強制発現カイコから
蛹化プロセスの遺伝的基盤を探る
京都大学農学部４年
大山　千春（高 66 回）

関西北陵会は、卒業後に関西の大学や企業に勤務した方が多数いらっしゃいます。近年は、関西地区へ進学する方が多いとのことです。学生の皆さんに参加頂くことで、より活力のある同窓会の活動が出来ればと考えております。今後は、学生さんとのコミュニケーションを密にすることで関西北陵会の活性化を図りたいと思います。皆さんの積極的な参加をお待ち申し上げます。

福島北陵会

阿部　力哉（高３回）

平成二十九年度の福島北陵会は例年通り、福島市内の峰亀において七月二十二日（土）に行われました。同窓会本部役員の鈴木利明氏、山口信也氏のお二人と長島勝彦校長のご出席を頂き同窓会活動の概要を聞き、「北陵の四季」という学校通信六月版で二高生の多方面での活躍を伺いました。その後は少人数ながら和気あいあいの楽しい時間を待つことができました。

本部で作製していただいた福島北陵会旗は一年前の総会後に届いていたのですが、今回が初のお披露目となりました。本総会時の写真では会旗が人の列の後ろになってしまい、校章が見えるのみで、その下の文字が隠れてしまっています。

福島北陵会は仙台二中生活を経験した私の同級生の会員が多く参加している事情もあって、福島の会旗には「仙台二中・二高福島北陵会」と印しました。

現在、仙台二中時の卒業生は既に九十歳近い方々が最も若い年齢なので、二中出身のお元気な方の総数は随分少なくなっていると思います。写真にみる本会出席者のうち五人（一人欠）が高校三回卒ですが、第二次世界大戦末期の頃に入学試験を受けて仙台二中に入学しました。在学中の終戦直後に学校制度の大改革があって、中学三年、高校三年の計六年間の多感な青春時代を同じ校舎で過ごしました。というと聞こえはいいですが、大戦中に仙台大空襲に見舞われた後、終戦になってからは食べ物もなく、着るものや履く靴もなく、空腹にさいなまれた日本の最も悲惨な時期を過ごして来たことになります。戦時中使用していた教科書の不適当な部分を墨で塗り潰しGHQの下で、一八〇度転換した民主主義教育が始まって教師、生徒共に大きな戸惑いがありました。貴重な歴史の節目を経験しました。

昨年度の二高同窓会会報にみる山形支部の会旗には仙台二高山形北陵会と記されているのを見て、

四十九回の卒業生を輩出してきた仙台二中の歴史がずいぶん遠くなったことを実感しています。

福島北陵会事務局の変更をしました。

【新連絡員】大場　時彦（高31回卒）
〒九六三―八〇四一
福島県郡山市富田町権現林三―四
大場工務店内
【電話番号】
〇二四―九六一―六五〇〇

岩手支部

鈴木　恒男（高5回）

一、第36回仙台二高同窓会　岩手支部総会
日時：平成29年6月24日（土）
午後5時30分
場所：盛岡グランドホテル
アネックス　集合写真(1)

二、第25回仙台二・一高　合同同窓会
日時：平成29年11月18日（土）
午後5時30分
場所：盛岡グランドホテル
アネックス　集合写真(2)

恒例の両同窓会が開催され、それぞれ今回も有意義な会となりましたことをご報告いたします。

写真(1)、(2)をご覧いただければ、その雰囲気がおわかりなように厳粛にそして賑やかに会が進められ、佳境のうちに時間がすぎ、校歌、凱歌そして二・一高合同同窓会ではエールの交換もあり盛会裡に解散となりました。

（写真１）

一、当日は本部より長島勝彦校長、菊池徹同窓会理事のご来駕を賜り、同校の現況について、特に学生さん達のご活躍ぶりをご報告いただきました。ご多忙の中のご出席に心から感謝を申し上げます。

本会は三年位前から開催日時が一月末から六月頃に変更されております。それは仙台二高から岩手県の各大学への新入学者の歓迎会をかねて行うことにしました。

ただ合格者確定までに時間がかかること、また最近、重要視されている個人情報保護もあり、各大学の事務局に連絡をとり、そして学生本人にではなく、ご家庭にまず連絡し、その了解を経て、学生本人に連絡をとる方式にしております。

但し岩手医科大学の場合は、当支部の小川彰名誉会長が大学の理事長であることから、円滑に進行しており感謝にたえないところです。

仙台二高の最近のご活躍ぶりは目を見張るものであり、各名門大学への入試合格率が素晴らしく、各先輩も週刊朝日とかサンデー毎日などを手に喜びをかくせない様子でした。

（写真２）

二、この会の発足の経緯は前回の本部・同窓会報にご報告しておるところです。今回も仙台一高側は本部からお二人のご来賓をはじめ十八名の出席でした。

二高側は本部から大井龍司同窓会長、佐藤弘人教頭、鈴木利明同窓会事務局長のご三名にご来盛賜り二高の最近のご活躍について貴重なお話をいただきました。ご来訪に心から感謝を申し上げます。

小生は仙台の本部での同窓会評議員会とか同窓会総会に岩手支部長として何回か出席させていただき、その盛大さ、会の進行ぶりに驚嘆いたしました。

大井龍司同窓会長、校長先生、同窓会理事の方々もそれぞれにその任を全うされていてご立派でした。

昨年度は本部で永年にわたってご活躍されて来た同窓会理事の方々の多くが任期満了で交代され寂寥感と共にそのご苦労を謝したいと思います。また新しい方々が頑張っておられたのが印象に残っております。

さて本会は一度数年間の中断はありましたが、その後は着実に会を重ねており、ラグビーで言えばノーサイドの楽しい会で今後も良い会合であろうことを確信して報告といたします。

仙台二高 在京同窓会

練生川淳志（高30回）

平成二十九年十一月二十三日（木・祝）、浅草ビューホテル（東京都台東区）において在京同窓会総会・懇親会が開催されました。今年の総会は、実行委員会制を採用し、若手を中心とした十三名の実行委員の皆さんが盛りだくさんの企画をしてくださいました。

会場前には、「仙台二高今昔写真展」が開催され、甲子園出場や総体四連覇など懐かしい写真がたくさん並びました。また会場の中では、世界的なデザイナーの庄司正さん（高18回）のドレス三点（オバマ元大統領夫人のドレス二点、卓球の福原愛ちゃんの結婚式のドレス一点）を展示いただきました。

当日は、ご来賓として、母校からは長島勝彦校長、同窓会本部からは鈴木利明事務局長（高31回）と遠藤康浩理事（高41回）、また友好関係にある熊本高校東京同窓会からは上妻博明副会長、安在健幹事長補佐を迎え、在京同窓会会員一二九名と合わせて総勢一三四名での盛大な会となりました。

総会の司会は昨年に引き続き島田淳さん（高33回）です。総会に先立ち、会員物故者へ黙祷を捧げご冥福をお祈りしました。今年も十六名の会員のご家族から訃報のご連絡をいただきました。

総会では、最初に会長の上條努さん（高24回／サッポロホールディングズ株式会社代表取締役会長）からご挨拶をいただき、その後来賓を代表して長島校長と遠藤理事からご挨拶をいただきました。長島校長が冒頭、「必ず聞かれますので最初に申し上げておきますが卒業生ではありません。」との一言には会場内大爆笑でした。長島校長からは文武にわたる後輩の活躍の様子をお話しいただき、続いて遠藤理事から本部同窓会の活発な活動内容についてお話しいただきました。その後幹事長による会計報告と齋藤博史さん（高32回）による監査報告が行われました。

懇親会に移るにあたり司会が、田中大輔さん（高51回）と田村香織さん（高65回）にバトンタッチとなりました。懇親会は、総会実行委員長の伊藤勝明さん（高37回）の「皆さん、楽しんでいってください～い！」という元気の良い挨拶からスタートとなりました。

乾杯は在京同窓会史上初めてと思われる親子参加の鷹見良朗さん（高24回）と鷹見洋介さん（高62回）にいただきました。洋介さんは、男女共学化一期生とのことで当時の思い出話しにも触れていただきました。

歓談後アトラクションとして、歌手の石川えりなさん（高27回の佐々美喜男さんのお嬢様）から歌声の披露をいただきました。持ち歌の「つぶやき」や「恋は万華鏡」を初め素敵な歌声をたくさん披露いただきました。石川さんのステージの途中には、出席者中最高齢の杉本毅さん（中47回）よりサプライズでご挨拶をいただきました。杉本さんは現皇太子（浩宮さま）ご誕生の時の医師団のおひとりとのことで当時のお話しなどを披露していただきました。今年米寿をお迎えになられるそうです。いつまでもお元気で。

次に「仙台二高ふしぎ発見」と称して全員参加での仙台二高にまつわるクイズ大会が行われました。仙台二高の歴史に関わる珍問難問で各テーブルが大いに盛り上がりました。

そして当日メインのアトラクションとして、清貴さん（高53回）のスペシャルライブが開催されました。清貴さんの楽曲である「MY VICTORY」がフジテレビ系列「平昌パラリンピック公式テーマソング」として採用されましたので耳にした方も多いのではないかと思います。当日も、「MY VICTORY」を初めたくさんの歌を十五名ものクワイア（コーラス）と一緒に披露していただき会場大盛り上がりでした。

懇親会の締めの段では、応援団長を務めた田村香織さん（高65回）のリードでの校歌斉唱に続き、エール交換が行われ、応援団OBOG会員の旗振りの下、全員で「雨か嵐か」、「勝利の歌」、「凱歌」と歌い上げました。中締めとして次回総会実行委員長である菊地龍介さん（高50回）より次回総会への熱い抱負を語っていただきました。

なお、本年も秋に総会・懇親会を開催予定です。今年も昨年より一層盛り上がるようにと多数の実行委員の皆様が力を入れて準備をしておりますので、是非多くの会員のご参加をお待ちしております。

ニューヨーク支部

旦 英夫（高20回）

平成三十年四月四日、ニューヨーク支部は、春の同窓会をマンハッタンの和食レストランで行いました。

新規の会員、小西氏を迎え同窓会は大いに盛り上がりました。現在、支部の会員は六名で、全員が参加。（写真をご覧ください。左から蓼原、小西、福永、旦、白田、松下各氏）

我々六人は学年の違いを一瞬のうちに乗り越え、旧友同士の集う会になりました。二高時代の懐かしい日々、仲間や先生たちとのこと、クラブ活動に明け暮れた日々、そして定期戦と…思い出は尽きず、気持ちははるか広瀬の流れに飛んでいました。

食事会が終わり、今度は個室に陣取り全員でスマホを使って、同窓会のホームページから、校歌と応援歌にアクセスしました。校歌から始まり「雨か嵐か」をはじめ全ての応援歌を歌い、最後に凱歌をゆっくりと歌い終わった時には、我々の心に熱いものが溢れていました。

遠くニューヨークの地で、心を一つにできたことに無上の喜びを感じた瞬間です。

時間を遡ると、昨年七月、二高の生徒二十数人がボストンでの講習を終えてニューヨークへ来ました。我々二高ニューヨーク支部は、かれらを励ますべくミッドタウンのホテルに集まりました。

我々からアメリカでの生活の喜びや苦労を話し、質問に答えました。生徒たちから将来の抱負を聞

き、多くの真剣な質問を受けました。その発言の中に、彼らが本当にグローバルな世界に身を置きたいと思う気概を持つことを強く感じました。将来、この生徒たちが、留学や仕事でニューヨークに来て、我々の仲間になってくれることを大いに期待します。二高の支部の旗を中心にして記念撮影をしたときには、二高の後輩、先輩の素晴らしい連帯を感じ、我々にも心が踊る時間となりました。今年二〇一八年も、三十人近い生徒たちがこの地に来てくれると嬉しい知らせをもらったところです。

今年も心から歓待します！

クラブ・回期報告等

東京一八会（高校18回卒東京同期会）古希記念総会　報告

伊藤　悦敬（高18回）

平成二十九年六月四日（日）正午から東京都港区芝公園の芝パークホテル別館「ローズルーム」にて、東京一八会古希記念総会が開かれました。

同期卒業生の集まりとして、地元仙台では一八会として卒業後から定期的に行われてきましたが、東京ではそうした集まりが無く、在京の高校18回卒同期生の会は二十年ほどの間、個人的な集まりの延長線での小さな仲間内の会としていくつかの輪で行われているような状況でした。その後、同期生の岩井純くんの六華（リッカ）窯の作品展が銀座「松屋」や東京近辺で開かれるたびに「六華会（リッカ会）」と称して集まりを定期的に持つようになりました。そのメンバーたちが中心になって二、三年単位で適宜、飯田橋の「ホテルエドモント」にて東京一八会としての形ができ、総会を開くようになっていました。

その間平成十九年春には、地元と東京の仙台二高同窓会からの応援をほとんど得られない状況の中で同期生の浅野史郎くんが立候補した東京都知事選挙を契機に高校18回卒の仲間意識は一気に盛り上りました。仙台からもたくさんの同期生も駆けつけてくれて、都知事選挙運動を一緒に戦った結束力も強まり、同期生の強い絆が生まれてきました。また、同期生小野寺正くんが仙台二高在京同窓会長に就任した時期から、同窓会総会への同期生の参加も次第に増えてきて、常に学年別ではトップクラスの出席率になり、同窓会の活動や同期会活動が周知されてきました。

その後、東京一八会の活動として、平成二十三年東日本大震災の際の地元「あしなが育英会」への寄付事業（仙台の一八会へ委託）、仙台の一八会との共同活動として卒業50周年記念事業（校門入ってすぐ右手に学校施設配置案内板を設置と図書館への同期生著作書物寄贈）、同期生の加藤俊一くんが中心的に貢献してきた骨髄バンクへの協力活動など、東京一八会のみなさんの力を十分に発揮して様々な活動に寄与してきました。二年に一回の同期会総会の開催月や忘年会新年会を除き二カ月に一回の定例会も四十六回を重ねてきており、様々な話題を交えて懐かしい仙台二高時代を語り合い旧交を温めてきています。こうした活動の中で、平成二十九年二月には東京一八会古希記念熱海温泉旅行も実施され大いに青春の気を吐きました。

古希を記念に開かれた今回の東京一八会総会は、同期生のみなさんへの呼びかけも広く行われ、仙台からも三名の同期仲間を迎えて、総勢三十名の参加者でお祝いをしました。加藤俊一くんが参加者全員から事前にそれぞれの写真を集めて一人一人分を丁寧に編集してくれました。

その懐かしい仙台二高時代から若手で活躍した時代の写真が映し出されたスクリーンを背に、参加者それぞれが卒業後から近況までを語りました。仙台二高卒業後の五十二年間に青春の夢を追いかけた様々な姿、お互いの人生の歩みを共有することで、また一段と同期生としての友情が深まっていくことを実感しました。

古希を過ぎ、次回の総会開催の見込みはやや不確定要素が多くなってきているようですが、今後の東京一八会はできる限り同期生の心のよりどころとして機能できることを目指したいと思っています。

今年に入っても二か月に一回の定例会は開かれ、多数の参加者を得ています。新しい企画の同期生の集まり提言も出てきており、みなさん楽しみにしているようです。

産総研の理事長として活躍中の中鉢良治くん始め、まだまだ意気軒高な同期生たちは、これからも益々の活躍が期待されています。

二吹会 総会・懇親会

但木　均（高22回）

平成三十年一月二日、ホテル・レオパレス仙台において総会・懇親会が開催され、約五十名の同窓生が集いました。今までの総会は五月の現役の定期演奏会に合わせて行うことが多かったのですが、その場合だと演奏会終了後の遅い開始時間となり、会場の選択が困難でした。ということで今回はお正月の開催に変更して初めての会となりました。案内当初は参加者が集まるか不安でしたが、高12回から高67回（平成二十七年三月卒業）までと幅の広い皆さんが参加され、大変な盛会となりました。

総会は会長挨拶から始まり、役員（会長：松永雄治（高12回）、副会長：菅野昭男（高13回）・尾形正裕（高14回）、幹事長：但木均（高22回）、幹事：小澤孝一（高14回）・山内則義（高15回）・大泉義典（高34回）・伊藤寛明（高39回）・竹中大輔（高53回）・武田賢治（高56回））および会計の承認を経て、尾形副会長からは吹奏楽部と二吹会の歴史を紹介いただき、最後に伊藤幹事から「二高吹奏楽部の近況について」と題して現役の吹奏楽部の活躍状況が報告されました。

続いて懇親会に移り、平成十三年から二十年まで顧問であった持田亮先生（現在、白石高校教諭）

の乾杯の音頭、ゲストを代表して昭和三十一年から四十九年までの長きにわたりご指導をいただいた嘱託講師の小野義徳初代音楽監督（九十四歳）からご挨拶を賜りました。その他、ご来賓には内藤淳一先生（現在、札幌大谷大学高校教諭）、藤岡恭先生（ご退職）にもお越しいただきご挨拶を賜りました。その後は飲食と談笑のにぎやかな懇親会になりましたが、吹奏楽部ならではの余興としてOBによる楽器演奏が行われました。卒業して間もない高67回の高橋みゆき氏と猪股久智氏が「AUBE」というSAXとピアノのデュオを構成しており、その高橋氏のSAX演奏をアンコールも入れて五曲ご披露されましたが、さすがに現役の演奏者ということで、若々しい演奏とすがすがしい音色を全員で堪能しました。

吹奏楽部は昭和三十年の創設以来、継続を重ね、二吹会としては約八百名の会員数を数える文化部としては歴史あるOB会でありますが、問題は名簿の管理です。六十三年の歴史の中では同窓会の体制もない時代も長く、加えて名簿の紛失などが少なからずあったので、完全な名簿を作成するのが現在の二吹会の重要な仕事です。特に現代のネットワーク時代においてはメールで情報発信することが主体になるので、メルアド情報の入手が一番の優先課題です。そこで、この同窓会報をご覧になったOBの皆様におかれましては、名簿情報充実のため左記のHPまで情報提供をお願いします。特に昨年一度も二吹会からのメール配信を受けていない方はメルアドの情報登録が無い方ですので、連絡をお待ちしております。また、一度このHPにアクセスしてご自分のメルアドを登録いただければ、それ以降はHPからの発信情報を受け取れます。

二吹会HP
https://nisuikaisendai2.wixsite.com/mysite/（このHPに役員のコンタクト先情報（メルアド）がありますので、幹事長の但木（タダキ）まで卒業回期と氏名、メルアド、担当パート、住所、できれば電話番号の情報をご提供下さい。）

ハンドボール部「送球始め」

中鉢 貴省（高48回）

平成三十年一月二日、毎年恒例のハンドボール部「送球始め」が行われました。

秋の新人大会で準優勝を果たし、注目されている同部には当日、KHB東日本放送の「めざせ！頂点」も取材に訪れ、例年よりも一段と活気ある送球始めとなりました。

試合前には新ユニフォーム代の補助としてOB会より目録の授与式もありました。

この翌月二月には、神戸で開催される全国選抜出場も決め、後輩たちの活躍に久々に胸が熱くなりました。

菅間進OB会会長より目録の授与

文武両道の北稜魂を、全国の舞台でも遺憾なく発揮し、ますますの奮起に期待したいと思います！

応援団幹部OB

佐藤 敏晴（高22回）

一月二十八日午後五時より、本丸会館で、一高側幹事により第三回目の交流会を開催いたしました。雪の青葉城に思い寄せての「雪見交流会」と相成りました。

三時間にわたる盛り上がりの中、「定期戦」は「文化」なり？両校、連帯して現役応援団をサポートして行こう？ということを再確認いたしました。

五月の定期戦での再会を約束し、両校の校歌・応援歌、そしてエール交換、散会となりました。

北陵ドクター倶楽部 第4回総会

菊地 徹（高35回）

平成29年8月26日（土）
於・江陽グランドホテル

午後五時三十分。山崎 匡会長（消化器外科、高12回）のご挨拶で開会。司会は、鵜飼克明幹事（消化器内科、高28回）が担当した。

議長に徳村弘実副会長（消化器外科、高22回）が選出され、物故者への黙祷の後協議に入った。筆者（消化器内科、高35回）による会計報告に続き今井克忠監事（泌尿器科、高15回）が会計監査報告を行い了承された。さらに、筆者が同窓会の近況を報告。その中で同窓会費の納入額が伸び悩んでいることに言及し、会員に協力を呼び掛けた。

引き続き、公立黒川病院管理者・東北大学名誉教授の本郷道夫副会長（消化器内科・心療内科、高19回）による特別講演があった。演題は「Elvis, JFK & Michael」。米国を代表する三名の著名人の疾病の背景を詳細にご紹介いただき、一同とても興味深く拝聴した。

今井監事による写真撮影後、十九時より懇親会開宴。司会進行は、結城道広幹事（産婦人科、高33回）が担当した。

例年通り、白根昭男顧問（消化

器内科、高9回）の指揮で校歌斉唱。徳村副会長のご挨拶に続いて、来賓の長島勝彦校長より二高の近況をお話しいただき、同窓会会長の大井龍司顧問（小児外科、高10回）が同窓会の近況を補足された後、鵜飼幹事の乾杯で一同懇親を深め合った。途中、この度河北文化賞を受賞された大井顧問に山崎会長より記念品が贈呈された。

二十一時、閉会の時刻である。若き日の応援団幹部野口光徳幹事（消化器内科、高31回）、鳴原　康先生（形成外科、高34回）、菊地達也先生（消化器内科、高37回）による旗振りに合わせて「雨か嵐か」、「凱歌（1、5番）」を高らかに歌い上げ、鈴木晋介代表幹事（脳神経外科、高26回）のご挨拶で散会となった。

今年の総会には、四十三名の会員（うち研修医八名）が参加した。

第五回総会は、平成三十年八月二十五日（土）、江陽グランドホテルにて開催の予定である。

仙台二高創成会総会開催

高橋　正道（高3回）

高3回卒仙台二高創成会の総会は平成三十年四月十五日（日）に正午から江陽グランドホテルで開催された。

遠路、愛媛県松山市・首都圏・福島市・盛岡市から二十四名が参加、昨年と比べて八名減であるが、本年八十六才を迎える高年齢同期会としては元気者の集まりと自負している。各人の近況報告は前向きの健康対策が紹介され生きていく意欲満々の健在ぶりであった。

話題の恩師渡邊義夫スガメ先生から卒業時に贈られた先生作詩の「送別の歌」は幸い和田謙郎君が先生直筆の詩稿を保存、紛失かと思われた仁科博之先生作曲の楽譜が箱守京二郎先生君ご夫婦の努力で再現され当日披露され、七十年前のスガメ先生の深い温情を偲ぶ一刻を過ごし、全員にCDが配布された。次いで恒例のマジシャン小久弘雄君の至芸手品のご披露があり、山田雄敏君からは「サミュエル・ウルマンの青春の詩」の朗読があり「青春とは心の若さである」を確認。来年の健在での再会を願い、最後は一本締めでお開きとした。

バスケットボール部「創部七十五周年祝賀会」

佐久間正光（高21回）

平成二十九年五月二十日、江陽グランドホテルにおいてOB三十五名、現役バスケットボール部員二十九名の出席のもと創部七十五周年及びバスケットボール部北陵会設立六十五周年の記念祝賀会が開催されました。

同窓会報第四十五号で既報の通り、震災の為開催を一年見送った平成二十四年に篭球部創部七十周年記念事業が盛大に実施されましたが、次の八十周年記念までは到底待てないという諸先輩の強い意向により現役部員も含めた祝賀会となりました。

熊本翔太郎さん（高60回）のスムーズな司会のもと、開会の辞に始まり西嶋康雄会長（高21回）より開催経緯報告及びチーム力向上へ寄与した現役部員へ贈る萩原賞創設等のご挨拶を頂戴しました。続いて、七十周年記念事業の開催と定例懇親会の開催定着化にご尽力頂いた前会長の佐藤宜男先輩（高16回）へご慰労の記念品を贈呈させていただきました。

当日は現役チームの第六十七回対一高定期戦（試合の方は残念ながら勝利を得られず対戦成績は33勝34敗の負け越しとなった）の後であり、県総体へ向けた激励会でもあったことから、部顧問でバスケットボール部OBでもある佐藤光先生（高57回）の戦況報告及び現役キャプテンである半澤輝也さん（高70回）の総体へ向けた決意表明に参加者全員耳を傾けました。なかでも、前週に予選敗退し県大会に出場できなかった女子キャプテン武田真穂さん（高70回）の、愛好会時代の屋外コートから体育館コートでバスケットボールが出来ることを承認頂いたOB会の先輩方々に感謝する旨の挨拶に聞き入った次第です。

加藤栄一先輩（高6回）から乾杯のご発声をいただき祝宴となりましたが、場内には音楽とともに「創部七十五年の歩み」と題した各年代から提供頂いたチーム写真がDVD映像として流されました。写真も個人からの提供のほかに部の『五十周年記念誌』及び第三次黄金時代を築いた『華の四十年卒誌』から引用させて頂きました。二十分程の上映の後に、萩原名誉会長（高4回）より七十五周年記念祝賀会への想いを込めたご挨拶を頂きました。『たった三年間の高校時代の部活動が先輩後輩含め五年間の共感として積み重なり七十五年も続き、こうして祝賀会が開催されることに関係者と

して感慨深いものがある。』昭和二十六年のバスケットボール部北陵会設立時に先輩諸氏と篭球部創設の黎明期を模索した時代から、当初はＯＢ会主催であった対一高定期戦の歴史までのお話を頂きました。萩原先輩のお話は祝賀会出席者だけのものとせず北陵会として記録に留めるべきものと考え後日会員各位への定期報告文書へ同封させてもらいました。

　食事と杯が進むにつれ何時ものように賑やかに懇親を深めるＯＢ諸氏でしたが、当日は現役学生とも交流を深めることができ楽しい一時となりました。

　最後は恒例となった佐藤徹さん（高58回）の発生により校歌斉唱でお開きとなりましたが、無事に記念行事を済ますことができましたのも全国各地からご協賛いただいた諸先輩方のご厚志の賜物と紙面をもって改めて感謝申し上げます。

　この七十五年の間、バスケットボール部に在籍した卒業生は延六百数十名となります。今春、入部した一年生が十六名とのことで驚きましたが、嬉々とした思いにもなりました。今後も、バスケットボール部北陵会として現役部活動を支援し、八十周年・百周年を迎えられるよう想いを強くしております。

寄稿

「凱歌」と「応援歌」と

麻喜　宏雄（高９回）

「凱歌」

　私には、凱歌の感動が昨日の様に甦える。

「夕陽　西に輝けり
　鳴呼　吾れ勝てり　吾れ勝てり
　聞け　常勝の意気こそは……」

　敗戦による無念の凱歌が響き亘る。

　夕闇迫る閉会式後の無人の県営陸上競技場。

　戦い終って馳せ参じた選手諸君と、どの会場にも姿を見せた大応援団旗。声援の限りを尽くした全校生一〇〇〇名と教職員の大合唱。

　総合体育大会五連覇を逸した涙の凱歌は、明日からの雄々しさを植え付けたものと思いました。

　翌日の河北新報の「常勝二高四位に落つ」敗戦で知った凱歌の深い味わいを選手と応援団の共鳴する感動の中に見出しました。

「暁かけて匂ふなる
　桜の花に武士が
　秘かにひめし思いこそ……」

　西公園、仙台市公会堂での宮城・福島の東北大会を勝ち抜き甲子園出場を決めた大祝賀会。野球部の諸君、同窓先輩諸氏、現役応援団の歓喜の凱歌斉唱は、春の敗戦から生れた全校生の勝利でありました。

　昭和三十一年から幾星霜、青春の甘美な追憶が八十路を迎えた今でも蘇り、「夕陽」から「暁」への凱歌が私の人生の応援歌であります。

「応援歌」

　仙台から十数名の応援団、友情応援を仰いだ兵庫滝川高校ブラスバンドの諸君と併せ僅か三十数名は応援団の指定席アルプススタンドではなく三塁側内野席に陣取ったのでした。

　一回戦不戦勝で臨んだ二回戦は、此の年、優勝候補筆頭と言われた神奈川代表の慶応高校、試合開始のサイレン鳴り止まぬ間に点数を取られ、一般の関西人観衆から「草野球を見に来んではないぞ！」のいきなりの野次を受けてのスタートとなりました。

　試合は、三対三同点のままに六回終了時点で雷雨すさまじく試合は中断、一塁側慶応応援団は退避、吾等三十数名はこの時とばかりに

「雨か嵐か暗雲の十字の砲火青葉城……」
「北斗の光薄れゆき、たちまち紫電ひらめけば……」

　正に情況にマッチした吾等の「応援歌」でありました。

　僅か三十人の応援団が無人の甲子園で旗を振る。歌う。舞う。雨でぐっしょりと垂れ下がった慶応応援団「三色旗」だけを相手に一時間二十分。

　選手諸君の待機中に、今こそ吾等応援団が斗う時だ！。選手と応援団が一体となった瞬間でもありました。雨上がり試合再開。澄み切った球場に一段と響き渡る応援歌。会場を見渡すと一般観衆に配っていた小旗と団扇が、吾等を取り巻く様に二千人の大応援団となっていました。

　七回に一点を加点した二高の大勝利でした。無人の甲子園、雨中の応援、慶応高校との一戦は、今でも強烈に思い出され、時を得、場所を得た「応援歌、雨か嵐か……」は幸者と感慨に浸たるのでした。

昭和三十一年、甲子園大会出場時、仙台駅頭での壮行会でのもの。中央が麻喜応援団長

　最後に「校歌」

「あな尊ふと、あな麗し
　豊さか昇る朝日の御影……」

　明治四十一年頃の作といわれる、大関先生、岩城先生による荘厳なる校歌を又々甲子園球場に響かせたいと思ふ此の頃であります。

　高卒9回・10回・11回生共々斗った昭和三十一年でありました。

（応援団長）

『雲南紀行』河合絹吉著

佐々木武夫（高４回）

　序　章

　これは、北陵健児なら皆々朝な夕な仰ぐ、あるいは仰いだ寿像の主、旧仙台二中第五代校長河合絹吉先生が、三十歳の若さで、二年四ヶ月間にわたって、中国雲南省に赴任された時の紀行文である。在校生は、寿像の台座の裏側に先生のお人柄やご功績が刻されているので熟読して欲しい。我等高校第4回生が、還暦を経たので、あの昭和二十一年から我が国激動期の六年間在学した青春時代の回想文集を編もうではないかとの声が、首都圏同期の有志から発せられた。全国各地の同期生が呼応し、『同期のいぶき』と題した分厚い思い出の記が編まれ、平成八年第一号刊行から、平成十四年刊第四

号まで続いた。四冊とも母校図書館の卒業生刊行・寄贈図書の棚に収蔵されている。私が、同窓会事務局で会報発行を担当しておった時代、河合先生に関する旧職員・同窓の方々の思い出の記に沢山出会った。それで、それらをもとにして、その第三号に先生の評伝を寄稿した。独断と偏見のものではいけないので、当時の仁科校長、堀田同窓会長、藤原副会長、大阪府池田市にお住いの福永冬子様

河合　絹吉　校長　著
「雲南紀行」和綴六冊

「雲南紀行」より

（河合先生の息女、昭和二十二年当時の旧制仙台二中教頭夫人）に御批正を願い、有り難い助言を頂き、補正ができた。福永冬子様からは「父のこと文章の通りです。よくまとめてくださいました。云云」との礼状を頂き、そのご縁で、冬子様が、お亡くなりになるまで、賀状や暑中見舞など文通が続いた。

ところで、平成二十九年四月、新山淑子様から電話があり、『私は、河合の孫に当たる者ですが、祖父が若い時分、中国の雲南省に赴任したときの日記が六冊あるのだが、祖父のことをよくわかっておられるあなたの所に送りたい。私の所に置いても私も八十を超えたので人知れず処分されるのが辛いので』と。間もなく宅急便で届く。荷解きすると、和綴じ、十二行、各行二十六、七字で毛筆書き、漢字は草書体の先生独特の崩し書き、仮名の多くが変体仮名、文章は文語体、読み慣れるまで判読は一寸難しい日記。読み進めて行くうちに先生の雅量と交友の広さ、和漢の古典を基とした学識の深さ、自作の俳句・短歌・漢詩・都々逸等に散見するユーモア、語彙力の豊かさ、自然鑑賞、中国清朝時代＜清朝は明治末まで＞の世態風俗人情の描写の巧さ、大所高所からの将来に向けての洞察力の確かさ等読者は感嘆なさること必定と思う。同窓会報での第一報は、嘉納治五郎東京高等師範学校長の強い推薦で中国雲南省師範学校教師の辞令が下りて、出国するまでの記録抄である。第二報以後は、中国上海到着直後、先生の携帯物や生活必需品の入った大事な大事なトランクが盗難に遭ったところからお知らせしたい。

本文『雲南紀行』その一

旧宮城県仙台第二中学校第五代校長

河　合　絹　吉　著

※〇内の注記は、紹介者、佐々木武夫による。

明治三十八年十月九日、夜中門をたたく者あり。妻に問えば電報なりと言う。開きて見れば、嘉納高等師範学校長（注、明治十五年講道館創設者嘉納治五郎氏）よりなり。その文に（電文は片仮名文だが、漢字仮名交じり文になおす。）

支那に行く氣あらば
明日学校済み次第来い

幸い八日・九日は、神奈川県師範学校（当時の勤務校）の野外演習なりしを以て明日は休みなり。朝より行かんとて寝に就く。昨日は辻堂の向こうなる海岸に生徒の対抗運動を見、夜もすがらまどろみもせず、蚤に食われたり。

今夜また夜半に起こさる。明朝、寝過ごすなかれなど語りて眠る。

十月十日、一番汽車にて上京し、直ちに高等師範学校に行く。先ず櫻井教頭先生を訪う。先生は今度のことを知らざるなり。やがて嘉納校長登校せらる。雲南行きの事をすすめられる。条件など面白からざる事ありしが、行く事に決す。

陳栄昌、銭某等、訳生（通訳）李培元を伴うて嘉納先生の許に来たる。之れと会見して委しく条件など取り定む。すでにこの一日、学校を欠席せしを以て今夜は必ず鎌倉に帰らんとす。されどすでに横須賀行きの汽車なし。ただ午後十時の大船に停車する神戸行きあるのみ。やむなくそれに投じて、大船より徒歩す。道暗く雨も降り出でなん模様なり。帰れば（午前）一時を過ぐ。支那行きの決したる事を初めて妻に語る。一喜一憂、万感互いの胸に充つ。

十月十二日、朝登校して（注・勤務校の神奈川県師範学校）久保田校長に支那行きの事を言うて許可を請う。校長容易に聞かず。八方説きて聞かしむ。それよりいろいろの事ありしが、東京と鎌倉とを行き返りて、雲南高等学堂の事の処理に過ごす。

十月十七日、鎌倉師範学校（勤務校）の運動会あり。会後、三橋楼にて職員の送別を受く。知友、知己の真情溢るるが如く、感謝の外なし。

十月二十八日、東京湾に大観艦式を行わせらる。その前夜、隣家なる内田海軍大佐の夫人来たりて、今夜直ちに横須賀に行き、内田氏の家に宿るべし。明日、陪観船に乗りて拝看するの便宜を計るべしと語らる。直ちに停車場に走せつけたれど、日本にある日、今数日のみなるを思いて引き返して家に寝ぬ。つらつら思えば、戦勝（注・日露戦争）の大観艦式見ずして止まんは、心残りなり。明日は、汽車にて横浜に行きて見んと決意す。当日になれば、海陸立錐の余地なきまでの混雑なり。内田夫人も同行す。東郷大将の姪なり。

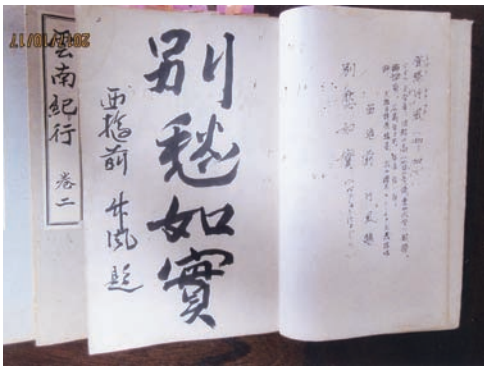
十二月二十九日、鎌倉を引き払う。生徒数人来たり送る。停車場為めに狭し。山内・高野・広瀬の諸氏大船まで送る。夜、豊橋に着き、岡田屋に一泊す。

十月三十日、朝、ゑき子（河合夫人）と行きて写真を撮る。後、中山に向かう途中、泉に松野を訪い、夕方、家に帰る。

十月三十一日、福江に行きて、第四部小学校教員有志者の送別を受く。

十一月一日、知人、故旧に送別せらる。（旧制二高・独文教授登張竹風氏等）

十一月二日、朝、出立。いよいよ渡清の途に上る。支那人（中国人・当時、中国を支那と呼ぶ）言う。「雲南は貴国を距たる二万里と思えば、征途遥なり。」と。ゑき子、石野道生君等に送られて、豊橋に到る。途中より守野氏も加わりて送る。豊橋の知己の人々に送別せらるこの夜、岡田屋に一泊す。



河合 絹吉 校長の親友
登張 竹風 氏の送別色紙

十一月三日、天長節の朝なり。この日、豊橋を立つ。ゑき子等停車場に送る。別離の涙なき能わず。細かに序せんと欲すれど情緒の乱るるを怖る。夕方、神戸に着す。海岸通り西村に投ず。江部、池田の二氏すでにあり。

通訳の李もまた来たる。ここにやや勇気を得て眠りに就く。

十一月四日、朝、汽船安徽号に搭し、神戸を発す。淡路島もカルタに想像したるより大きく、瀬戸内海も地図に見たるより広し。名に高き瀬戸の海、常ならば眺めもさこそ楽しかるべきに今日は景色も眼に入らず。夕陽の色の美しさにここは何処かと水夫に問えば多度津沖なりと言う。富士山の小さきを水に添えたるが如き島多し。筆を取りて、スケッチに収む。

十一月五日、門司に着す。英艦四隻、大観艦式に列したるが、今、ここを通過す。その帰途に就けるなり。門司に上陸して鈴木重氏に逢う。夕方より風や荒れ始む。人々食堂に出づるものなし。自分は、食堂に出でたりしもめまいを覚えて船室に引き返す。

十一月六日、朝、長崎に着す。故国の名残にとて、一同にて迎陽亭に至り、日本食膳の食い納めなりなど語りつつ、一会を催す。雲南万里実に生還心元なければなり。

十一月七日、洋上を航す。近松の所謂、チクラガ沖（注、日本・中国・朝鮮がごちゃまぜになっていること）なるべし。海水濁色を帯びたり。是、黄河・揚子江の影響なり。四顧すれども限界際限なし。我が船は、あたかも丸盆の中央に一匹の蝿あるが如し。無限の感慨筆舌の能く述ぶるところにあらず。この感あるいは男子の肝を練るに足るならんか。

次号に続く。

探しています!!

旧制二中「学友会雑誌」創刊号（明治33年発行）を探しています

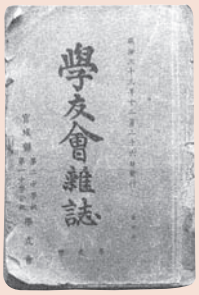
西嶋　康雄（高21回）

私の大叔父西島徳蔵は旧仙台二中の第一回卒業生（明治三十四年卒）です。

旧肴町で穀物商を営んでいた生家が仙台大空襲で全焼し、西嶋家にあった写真や資料がすべて消失してしまいました。

先般、平成十二年発行の「仙台二中二高百年史」を見ていたところ、その24ページに明治三十三年に在学生徒と在校職員で構成する「学友会」が組織され、その年に会誌「学友会雑誌」の創刊号が発行されたとあり、その目次が掲載されておりました。その目次の中に大叔父徳蔵が、論説として　読史　5・1西島香仙の名前で投稿されたことが判明しました。そこで、「学友会雑誌」創刊号を二高図書館や同窓会の資料室などで探していただきましたが、中々見つからずにおります。もし、その創刊号をお持ちの方あるいは発見に繋がる情報をお寄せいただければ幸いです。

（連絡先）　西嶋（高21回）
〇八〇―二二三七―五二九一



学友会雑誌創刊号

理事会からのお知らせ

創立百二十周年記念事業について

宮城県仙台第二高等学校（以下、母校）は二〇二〇年に創立百二十周年を迎えます。それを祝う事業を遂行するために創立百二十周年記念事業実行委員会（以下、実行委員会）が設置されました。実行委員会は既に三回（2017/8/22, 11/14, 2018/2/23）開催されましたので、これまで決定された主な内容について報告します。同窓会員各位に於かれては、本事業へのご理解を深め母校の創立百二十周年をともに祝って頂きたいと思います。

実行委員会は実行委員と専門委員（後述）とで構成され、会長には大井同窓会長、副会長にはＰＴＡ会長が、さらに学校長は参与として参画、事務局を担当する学校関係者が中心となり、学校／ＰＴＡ／同窓会（以下、三者）が三位一体となって記念事業の準備を進めています。なお今回は大型の記念事業がないことから同窓会員への募金活動は行わず、記念事業費用は主として奨学会から拠出することを当該会理事会、評議員会で認めて頂きました（既に全生徒のロッカー寄贈を決定）。なお本年六月に予定されている第四回実行委員会までには、記念事業の予算総額をまとめることになっています。

三者からそれぞれ推薦された委員による専門委員会には、総務委員会、式典委員会、祝賀会委員会、周年史作成委員会および同窓会名簿作成委員会があります。これまで各委員会で検討した結果、①「記念式典（場所未定）」ならびに「祝賀会（江陽ＧＨ）」は二〇二〇年十一月十三日（金）に開催すること（第二候補は一週繰り上げ）、②「周年史」は二〇〇一年～二〇一九年の歴史を（二〇二〇年分は事業予定内容を掲載）、③今回もっとも重要かつ困難な作業となる「同窓会員名簿作成」では、各回期から名簿改訂委員の推薦を依頼し、その委員各位のご尽力と同窓生諸氏のご協力を得てより充実した名簿の作成を目指すこと、その際個人情報保護には充分に配慮することなどが決定されました。なお周年史、同窓会員名簿はともに販売する予定ですので（現時点では価格未定）、後日同窓生宛に購入希望案内を送付いたします。

また母校の創立百二十周年を記念するロゴマークを作成することにして現役生徒から公募したところ、美術部員の二年生、中村未来さんの原案が（美術科教員の助言のもと修正）採用されました（写真）。

さらに特筆すべきは、世界的彫刻家で現在石巻市に建設中の東日本大震災復興記念公園に設置される鎮魂と追悼モニュメントを制作中の武藤順九氏（高20回）に、母校に何らか記念になるものをと依頼したところ、こころよく記念モニュメントを寄贈して下さるとのこと、今回の記念事業に華を添えることになりました。

実行委員会としては、本事業の成功に向けて更に鋭意、努力を続けますので、同窓会員諸氏のご理解、ご協力をお願いいたします。

（二〇一八年四月、創立百二十周年記念事業実行委員会）

創立百二十周年記念ロゴマーク（美術部員　中村　未来さん作）

北陵祭への参加

平成二十九年九月二日（土）三日（日）に開催された母校の文化祭「第六十九回北陵祭」に、「同窓会の部屋」のブース展示を行ないました。今年度も九名の同窓生に絵画や写真・論説などの出展のほか、高18回生で世界的なファッションデザイナー庄司 正 氏の全面協力のもと、同氏の作品三点を展示しました。

更に、新たな取組みとして、PTAの皆様の協力により「OYAカフェ」が実施され、抹茶やコーヒーを飲みながら出展作品を鑑賞することができました。

また、ブース展示の運営に、今春卒業した69回生が参加するなど多くの皆様に支えられ大いに盛り上がったブース展示でした。

平成三十年も同窓会ブースを一層充実させたいと思いますので、各支部、各回期、各クラブOB会などからの出展をお待ちしております。

平成二十九年の北陵祭への出展者の皆様です。

奥山　隆生様（高8回）
阿部　三彦様（高8回）
西野　陸治様（高11回）
天江喜七郎様（高14回）
横山光太郎様（高18回）
タダシ・ショージ氏（高18回）
佐藤　芳博様（高19回）
旦　英夫様（高20回）
木村　雅文様（高22回）
福田　和弘様（高22回）

ご協力ありがとうございました。

創立記念講演会

「和文化力の可能性～和の音・和の心が国境を越えるとき」

鬼太鼓座代表　松田　惺山氏（高28回）

平成三十年五月一日の創立記念日に、鬼太鼓座（おんでこざ）代表、松田惺山氏（高28回）より「和文化力の可能性～和の音・和の心が国境を越えるとき」との演題で講演をしていただきました。

松田氏には、昨年の同窓会総会においても、ご講演いただきましたが、その講演に感動した、長島勝彦前校長が、ぜひとも本校生にも聴かせたいという強い希望から実現したものです。今回は、感性溢れる若い学生の皆さんには身近にバラツキなく肌で感じて欲しいとの松田氏の要望で、講堂の中央に太鼓を配置していただきました。以下は、太鼓、尺八等による魂に響く演奏と共に、お話しいただいた内容を抜粋したものです。

「人生をどう生きるか、進路をどうすべきか、等はインターネットで検索して学べばよいが、今この時間に、ここでしか感じられないことを、太鼓を通して、鬼太鼓座一同から君たちに伝えたい。マイクで大きな音は出せてもエネルギーは伝わらないのだ。

私は、幼い頃、ひょんな事から尺八と出会い、その後、東京芸大時代に、偶然この鬼太鼓座とレコーディングの際に巡り会い、太鼓の音の余韻、うねり等の魅力にとりつかれ、今に至る。

鬼太鼓座は佐渡島で誕生し、走ることと音楽は一体であり、人生のドラマとエネルギーの反映だとし、毎朝10キロのランニングで始まる集団生活を送っている。これまで、人間の尊厳とは何かを模索しながら、世界中を旅した経験から、音楽経験を通じて世界中の子供達をつなぐ試みを行っている。

君たち若者には、日本の文化を身近に感じ、和の心を世界に伝えてほしい。日本は自信をもって、文化的に尊敬される島国として、末永く存在できる可能性があるのだから。」

同窓の皆様にも、是非とも鬼太鼓座の生の演奏に触れていただき、その素晴らしさを体験していただければ幸いです。

（事務局）

支部・OB 会連絡先

●支　部

団体名称	代表者	事務局(連絡員)	事務局連絡先	
N・Y支部	旦　英夫 (高20)	旦　英夫 (高20)	8 Heritage Lane, Rye, New York 10580 USA,	914-921-0771
ローマ支部	武藤　順九 (高20)	武藤　順九 (高20)	Via del Caravaggio, 20 00047 Marino Roma, ITALIA	
北海道支部	若生幸一郎 (中43)	加藤　憲和 (高18)	〒065-0034 札幌市南区南33条西8-1-23	011-583-1309
青森県支部	新山　龍治 (高22)	新山　龍治 (高22)	〒030-0845 青森市緑2-15-8	017-774-1009
岩手支部	鈴木　恒男 (高 5)	橋浦礼二郎 (高23)	〒020-0103 盛岡市西松園1-9-2	019-662-7028
山形北陵会	仙道富士郎 (高 9)	粟野　学 (高26)	〒990-2461 山形市旅篭町 3 丁目2-3	023-631-0001
福島北陵会	阿部　力哉 (高 3)	益田　芳幸 (高 3)	〒960-0111 福島市丸子字沢目17-2	024-554-5920
在京同窓会	上條　努 (高24)	練生川淳志 (高30)	〒152-0021 東京都千代田区神田淡路町1－1神田クレストビル304㈱オール・エージェント内	03-3527-1955
東海北陵会	佐山　泰弘 (高10)	佐山　泰弘 (高10)	〒470-2380 愛知県知多郡武豊町平井6-39	0569-72-4032
関西北陵会	麻喜　宏雄 (高 9)	川幡　公章 (高26)	〒672-8091 兵庫県姫路市飾磨区英賀保駅前町72プリート202	090-7716-3643
広島支部(休会中)				
九州北陵会	菅原　俊秀 (高10)	黒田　均 (高36)	〒803-0826 福岡県北九州市小倉北区高峰町5-7	090-2505-7347
気仙沼支部	調整中	調整中		
志津川支部	高橋　長偉 (高11)	高橋　長偉 (高11)	〒986-0741 本吉郡南三陸町志津川十日町1	0226-46-2041
石巻・桃生・牡鹿支部	菅原　憲 (高 8)	後藤　宗徳 (高29)	〒986-0827 石巻市千石町2-10 石巻グランドホテル気付	
加美支部	有馬　恒彦 (高18)	大山　匡 (高23)	〒981-4254 加美郡加美町字北町2-181-1	0229-63-3054
塩釜北陵会	大平　眞悦 (高18)	庄子　文康 (高25)	〒985-0005 塩釜市杉の入3-11-1	022-365-6435
黒川支部北陵会	大友　正隆 (高16)	大友　正隆 (高16)	〒981-3515 黒川郡大郷町羽生字原畑27-2	022-359-3222
岩沼支部	四倉　政美 (高10)	桃野　広志 (高23)	〒989-2445 岩沼市二木 1 丁目6-1	0223-22-0837
亘理会	手戸　雅己 (高15)	手戸　雅己 (高15)	〒989-2351 亘理郡亘理町字五日町 60-1	0223-34-1750
角田支部	未定	湯村　周一 (高22)	〒981-1505 角田市角田字町65	0224-63-1331

●職　域

団体名称	代表者	事務局	事務局連絡先	
仙台市役所北陵会	石川　浩史 (高32)	砂子田　順 (高58)	〒980-8671 青葉区国分町3-7-1 仙台市総務企画局 人材育成部労務課	022-261-1111 (内)2222
宮城県庁仙台二高養賢会	正木　毅 (高29)	佐藤　仁 (高45)	〒980-8570 青葉区本町3-8-1 宮城県総務部人事課	022-211-2226
仙教委北陵会	郡山　孝幸 (高25)	東海林惠吾 (高28)	〒982-0014 太白区大野田六反田10-5 大野田小学校	022-247-6654
藤崎北陵会	松原　大介 (高27)	星　史雄 (高37)	〒980-8652 青葉区一番町3-2-17㈱藤崎　人事部労務担当	022-261-5111
宮歯二高会	太郎丸　浩 (高17)	角田　哲 (高26)	つのだ歯科医院	022-281-4182
北陵ドクター倶楽部	山崎　匡 (高12)	鵜飼　克明 (高28)	仙台医療センター消化器内科	hokuryo.dr@gmail.com

●クラブ

団体名称		代表者	事務局	事務局連絡先	
青葉倶楽部	硬式野球部	岡崎　正之 （高28）	谷田部達博 （高41）	〒981-3211 仙台市泉区長命ヶ丘東5-4	022-778-3977
仙台二高 軟式野球部OB会	軟式野球部	菊地　房雄 （高18）	福田　瑞久 （高22）	〒980-0014 仙台市青葉区本町2-3-1 江陽グランドホテル内（福田）	022-267-5111
仙台二高 ハンドボール部 北陵会	ハンドボール部	菅間　　進 （高21）	中鉢　貴省 （高48）	〒980-0014 仙台市青葉区本町１-12-12 ＧＭビルディング９Ｆ	022-796-9411
仙台二高 バスケットボール部 北陵会	バスケットボール部	西嶋　康雄 （高21）	佐藤　宣男 （高16）	〒981-0961 仙台市青葉区桜ヶ丘1-3-15	022-278-7458
仙台二高 バスケットボール部 東京北陵会	バスケットボール部	太田　一彦 （高23）	遠藤　英司 （高38）	〒165-0035 東京都中野区白鷺3-22-7-117	080-1133-3072
仙台二高 サッカー部OB会	サッカー部	三井　　肇 （高10）	遠藤　廣俊 （高25）	〒989-4102 大崎市鹿島台木間塚字姥ヶ沢 114-4	0229-25-4454
仙台二高ラグビー部 OB会	ラグビー部	本吉　和康 （高11）	桂島　　猛 （高34）	〒981-3332 富谷町明石台5-41-1	022-776-1364
北陵騎士の会	フェンシング部	小栗　康次 （高13）	秋保　茂樹 （高32）	〒021-0866 岩手県一関市南新町55	0191-32-5105
	ヨット部	未定	奥野　誠也 （高22）	〒981-1304 志田郡松山町千石本丸49桃源院	090-6149-0002
仙台二高スキー部 北陵会	スキー部	前田　弘毅 （高28）	斎藤　雅人 （高34）	〒981-0953 仙台市青葉区西勝山7-2	022-719-3282
仙台二高陸友会	陸上競技部	宮崎　幹男 （高12）	加瀬　延男 （高16）		022-287-3901
仙台二高北陵柔道会	柔道部	佐々木優登 （高16）	鈴木　　裕 （高27）	〒984-0836 青葉区新坂町3-19	022-271-3682
仙台二高剣道部 OB会	剣道部	菅野　　敦 （高41）	堀之内優樹 （高44）	〒989-0225 白石市東町2-5-28-102	0224-25-9924
仙台二高弓道部 OB会	弓道部		山口　哲男 （高20）	〒980-0804 仙台市青葉区大町2-15-40	022-223-1618
仙台二高OB山の会	山岳部	三浦　康宏 （高31）	三浦　康宏 （高31）	〒981-3362 富谷町日吉台1-3-2	022-358-9452
仙台二高 バドミントン部OB会	バドミントン部	未定	宍戸　義一 （高22）	〒981-0952 仙台市青葉区中山7-14-8	022-278-4448
仙台二高 卓球部北陵会	卓球部	鈴木　　登 （高17）	鈴木　　登 （高17）	〒983-0826 仙台市宮城野区鶴ヶ谷東3-14-19	022-252-4216
バレーボール部 北陵会	バレーボール部	佐野　　崇 （高４）	阿部広太郎 （高40）	〒982-0011 仙台市太白区長町3-4-16-1001	022-308-3551
宮城県 仙台第二高等学校 合気道部同窓会	合気道部	岡崎　　信 （高20）	吉田　信彌 （高22） 進藤　　遼 （高60）	〒980-8631 仙台市青葉区川内澱橋通１番地 宮城県仙台第二高等学校 合気道部顧問担当教諭気付	022-221-5626 （仙台二高） 0224-25-0024
仙台二高 空手部OB会	空手部		渡辺　秀樹 （高56）		
仙台二高応援団 幹部OB会	応援団	田中於菟彦 （高15）	田中於菟彦 （高15）	〒986-0912 仙台市青葉区天守台 青葉城本丸会館	022-222-0218
二吹会	吹奏楽部 （ブラスバンド部）	松永　雄治 （高12）	但木　　均 （高22）	〒981-0912 仙台市青葉区堤町1-1-1-1201	090-4044-1234
	演劇部	西條　昭将 （高15）	西條　昭将 （高15）	〒191-0053 東京都日野市豊田2-3-12	042-583-4997
	写真部	伊勢　隆一 （高19）	伊勢　隆一 （高19）	〒980-0801 仙台市青葉区木町通1-6-32	022-222-1720

※他の運動部、文化部の情報をお寄せください。

【連絡先】　仙台二高同窓会事務局　〒980－8631　仙台市青葉区川内澱橋通1
担当　佐々木恵理　TEL／022－221－5651　FAX022－221－5686
月・水・金　10:00～15:00　Eメール／info@sendainiko-dousoukai.com
同窓会ML／nikodousoukai@googlegroups.com（詳しくはp30）

平成30年度　年間行事予定

4 月25日	水	大運動会（活動助成）	仙台二高校庭	
5 月 1 日	火	創立118周年記念講演会 講師　松田　惺山氏（鬼太鼓座代表）（高28）	仙台二高講堂	13時30分
5 月12日	土	定期戦祝勝会	本丸会館	17時00分
5 月20日	日	対一高同窓会ゴルフ対抗戦	東蔵王ゴルフ倶楽部	8 時00分
5 月27日	日	定例評議員会	江陽グランドホテル	16時00分
6 月 1 日	金	同窓会報第51号発刊		
6 月20日	水	当番回期打ち合わせ会（高29、30、41、42、53、54回）	北陵館	19時00分
7 月 7 日	土	校内ツアー	仙台二高	15時00分
7 月 7 日	土	**総　会** 講演会　演題「ビッグデータがもたらす超スマート社会」 講　師　照井　伸彦氏　東北大学大学院経済学研究科長／経済学部長（高29） クラブ活動後援会への寄付	江陽グランドホテル	17時00分
9 月 1 日	土	北陵祭		
9 月 2 日	日	同窓会ブース開設	仙台二高	
12月 1 日	土	ニュースレター第 5 号発刊		
12月12日	水	当番回期・ＰＴＡ合同第一回打ち合わせ会（高30、31、42、43、54、55回）	未定	18時30分
1 月16日	水	当番回期・ＰＴＡ合同第二回打ち合わせ会（高30、31、42、43、54、55回）	北陵館	18時30分
1 月25日	金	ＰＴＡ同窓会合同懇親会	江陽グランドホテル	18時00分
2 月28日	木	同窓会入会式	本校講堂	10時00分
理事会開催（4 /18、5 /16、6 /20、7 /18、8 /22、9 /19、10/17、11/21、12/19、1 /16、2 /20、3 /20）			北陵館	

◆定期戦祝勝会やゴルフ対抗戦などのイベントは、時期が近づくとホームページやメール等でご案内をします。また、12月 1 日に発行予定のニュースレターでもご案内しますので、奮ってご参加下さい。

評議員名簿

回期	氏　名
中44	石井　敏夫
中46	桃生　和夫
中47	佐々木一弘
	坂田　正雄
高 2	朝倉　亮
	吉田　敏樹
高 3	安達　剛
	高橋　正道
高 4	毛呂　達夫
高 5	菅原　正人
	高橋　清人
高 6	大友　一郎
	土岐　滿夫
高 7	中谷　義信
	藤野　尚之
高 8	奥山　隆生
	後藤　潮
高 9	相澤美智雄
	石田　武彦
高10	佐野　伸義
	四倉　政美
高11	鈴木　邦夫
	高石　祥二
高12	米竹　隆
高13	菅野　昭雄
	高橋　和男
高14	磐井　裕
	笹氣光寿郎
高15	近藤　尚武
	松川　好孝

回期	氏　名
高16	植田　俊之
高16	坂本　正憲
高17	佐藤　裕洋
	高橋　賢
高18	梅津　珪三
	渡辺　康之
高19	遠藤　謙治
	庄子　友康
高20	中島　俊和
	半田　賢
高21	内藤　清秀
	吉田憲三郎
高22	菊田　健三
	熊谷　晴樹
高23	大友　史祥
	小野寺満明
高24	沼倉　和彦
高25	斎　基之
	原　敏紀
高26	木村　清
	角田　哲
高27	高橋　芳郎
	千葉　宏
高28	鵜飼　克明
	岡崎　正行
高29	稲辺　和彦
	永見　幸久
高30	渡邉　善夫
高31	太田　康裕
高32	伊達　久

回期	氏　名
高33	松谷　秀則
高33	結城　道広
高34	大泉　義典
	千葉　敏彦
高35	今野　明典
高36	柳　雅裕
	首藤　雅浩
高37	木村　光博
	天江新太郎
高39	日下　開
高40	内田　靖
	酒井　紀章
高41	菅沼　恵一
	利　大作
高43	渡邊　勝宏
高44	田所　直希
高46	小野　光利
高47	八谷　豊
高48	武田　力也
高49	落合　和希
高50	橘　大介
高53	栗原　慶太
高54	三嶋　廣人
高58	相場　峻
高59	蔡　優広
高60	柴又　賢史
高61	泉　聖也
高62	添田　敏寛
高63	佐久間俊平
高64	深松　栞

回期	氏　名
高64	徳永　航平
高65	佐渡　恵奈
	佐藤　泰史
高66	坂元　宏司
高67	鈴木　麻優
	齋藤　樹
高68	大山　遼
	舟生佳奈子
高69	生田目誉也
	尾形　眞美
高70	菊地　雅子
	荒井　直人

◆評議員が 2 名制になっています
平成25年度の総会後から、各回期の評議員が 2 名となりました。まだ選出されていない回期の方は、お早めに選出していただき、事務局までご一報下さい。

評議員会報告

平成三十年度第一回評議員会

平成三十年五月二十七日（日）
十六時～

◇会長挨拶　大井会長

◇議長選出　磐井　裕氏（高14回）

◇協議

第一号議案
二十九年度事業報告（承認）

第二号議案
二十九年度収支決算報告・監査報告（承認）

第三号議案
三十年度事業計画案（承認）

第四号議案
三十年度収支予算案（承認）

第五号議案
役員再任（承認）

◇連絡・報告

・同窓会ホームページのリニューアル

・創立百二十周年記念事業

・同窓会名簿作成専門委員会（創立百二十周年記念事業）の活動経緯について

◇閉会挨拶　山田　信一副会長

理事会等記録

平成二十九年六月十四日（水）

・事務局体制

・評議員会の総括

・総会の議案・運営

・同窓会報編集の総括

・同窓会費納入率アップ対策

・北陵祭同窓会ブースへのＰＴＡブースの設置

・宮歯二高会総会報告

平成二十九年七月十九日（水）

・理事の会務分担

・総会・懇親会の総括

・北陵祭の同窓会ブースの運営

・宮城県庁養賢会総会報告

平成二十九年八月二十三日（水）

・委員会活動の充実

・北陵祭の同窓会ブースの進捗状況

・支部会活動報告の広報

・「仙台二高の伝統を守る会」からの寄付申出

・理事会ＭＬ

・創立百二十周年記念事業実行委員会報告

・福島支部総会報告

・山形北陵会総会報告

・岩沼支部総会報告

・仙台市役所北陵会総会報告

平成二十九年九月二十日（水）

・北陵祭同窓会ブース運営の総括

・同窓会費増収対策

・同窓会名簿の整備

・「仙台二高の伝統を守る会」からの寄付受領

・北陵ドクター倶楽部総会報告

・岩手支部総会報告

平成二十九年十月十八日（水）

・支出の見直し

・ＰＴ同懇の運営

・北陵ニュースレター

・理事会運営内規の見直し

・同窓会名簿の整備

平成二十九年十一月十五日（水）

・北陵ニュースレターの進捗状況

・来季の定期戦祝勝会の会場

・同窓会費増収対策

・創立百二十周年記念事業実行委員会報告

・北陵会報告

・東海支部総会報告

平成二十九年十二月十三日（水）

・同窓会名簿の個人情報保護対策

・ＰＴ同懇の運営

・事務局長から小火報告

・仙教委北陵会報告

・塩釜支部総会報告

・岩手支部一高・二高合同懇親会報告

・在京同窓会総会報告

平成二十九年十二月二十日（水）

・同窓会費納入の処理

平成三十年一月十七日（水）

・ＰＴ同懇の運営

・同窓会入会式

・同窓会名簿の調査票

・同窓会費納入の処理

平成三十年二月二十一日（水）

・ＰＴ同懇の総括

・同窓会入会式

・同窓会費納入の処理

・九州支部設立準備

・同窓会ＭＬの使用基準

・創立百二十周年記念事業への同窓会特別会計からの拠出

・ＨＰ掲載の手続き

・創立百二十周年記念事業同窓会名簿作成専門委員の増員

平成三十年三月十四日（水）

・同窓会入会式・卒業式の総括

・同窓会報への差込資料

・評議員会の会場・日時

・定期戦祝勝会の会場

・同窓会ＭＬの使用基準

・ＨＰに「百二十周年コーナー」及び「同窓生からの問合せコーナー」の新設

・平成三十年度学校行事計画

・創立百二十周年記念事業実行委員会報告

・関西北陵会総会報告

平成三十年四月十八日（水）

・同窓会報編集の進捗

・同窓会報への差込資料

・同窓会費納入依頼書・寄付依頼書

・同窓会ＭＬの使用基準

・同窓会名簿作成の進捗

・大運動会のクイズ提案者

・入学式の総括

・評議員会の進捗

・定期戦祝勝会の進捗

・創立記念日の記念講演並びに懇親会

平成三十年五月十六日（水）

・評議員会の資料整理

・同窓会報編集の進捗

・定期戦祝勝会の報告

・創立記念日の記念講演・懇親会の報告

・大運動会の報告

・入学式の総括

・四国北陵会設立

・同窓会関連の叙勲・褒章者の報告

ＰＴＡ・同窓会合同新年懇親会のご案内

二〇一九年一月二十五日（金）に、恒例のＰＴＡ・同窓会合同新年懇親会を開催します。

会場は、例年どおり、江陽グランドホテルで調整中です。

詳細は、決まり次第ホームページ等でご案内する予定です。

今から日程を空けておいていただけると幸いです。

各理事会務分担

H30.5.27

部　門	担　当　理　事	会　務　内　容
総　務	○谷口　秀樹※　加藤　幹夫 渡邉　博之	会務全般の総括 外部・会員・事務局との連絡調整
名　簿	○山口　信也　鈴木　誠一	同窓生名簿の管理統括　同窓生名簿の作成・管理
会　報	○遠藤　康浩　高橋　敦 菊地　徹※　阿部　孝一 大張　慎悟	会報の企画・編集・発行統括 会報の企画・編集・発行
広　報	○阿部　孝一　大張　慎悟	公式サイトの管理・運営統括 公式サイトの管理・運営
会　計	○山田　信一　菅谷　俊貴	会計全般の統括　出納・決算
活　性　化	○阿部　孝一　宮内　昭穂※ 遠藤　康浩　鈴木　誠一	活性化全般の統括　活性化に向けての企画立案 各種行事への参加率向上 評議員・常任委員・クラブＯＢ会への働きかけ
北　陵　祭	○谷口　秀樹※	
同 窓 会 旗	○宮内　昭穂※	
事 務 局 長	鈴木　利明	
事　務　局	佐々木恵里	

注１：○は部門のリーダー　注２：※は５月 27 日（日）評議会で承認を得ている再任理事予定者。

平成30年度　同窓会総会のご案内

1. **日　時：平成30年７月７日（土）**　総　会17時00分（受付開始は16時30分）
   特別講演17時45分　懇 親 会18時30分

2. **場　所：江陽グランドホテル≪地下鉄南北線広瀬通駅下車　西１番出口徒歩０分≫**
   TEL：022－267－5111

3. **懇親会費：**6,000円（学生の方は2,000円）

4. **申込締切：**７月２日（月）
   ★懇親会費は当日、会場でお支払い下さい。
   ★出席申込は、下記の申込先へ電話、FAXまたはＥメールでお願いします。

今年の同窓会総会には、
回期・支部・サークルOB会の
旗を持って参加しよう！

5. **申 込 先：**〒980－8631　仙台市青葉区川内澱橋通１
   仙台二高同窓会事務局　TEL　022－221－5651　FAX　022－221－5686
   （月・水・金 10:00～15:00）　Eメール　info@sendainiko-dousoukai.com

6. **当番回期：**高29、30、41、42、53、54回
   上記回期の方々は、評議員・常任委員を中心にご協力をお願いいたします。

7. **関連企画**
   ★特別講演
   演題：「ビッグデータがもたらす超スマート社会」
   講師　照井　伸彦教授（高29回：東北大学経済学部長　経済学博士）
   ★母校案内ツアー（当日の総会前に実施：母校　正面玄関前15時集合）

同期の方、クラブの方、お誘い会わせの上、多数ご参加ください。

一般会計　平成29年度収支決算・平成30年度予算（案）

（平成29年 4 月 1 日～平成30年 3 月31日）

（単位：円）

区　分	項　目	予算額（A）	実績額（B）	（B）－（A）	30 年度予算額
収　入					
	前年度繰越金	2,371,677	2,371,677	0	5,799,892
	年会費	9,500,000	8,544,000	△ 956,000	9,500,000
	（人数）	（3,167 人）	（2,848 人）	（△ 319 人）	（3,167 人）
	入会金	1,100,000	1,152,000	52,000	1,100,000
	（人数）	（306 人）	（320 人）	（14 人）	（306 人）
	受取利息	0	16	16	0
	寄付	0	4,786,167	4,786,167	1,000,000
	名簿等売上金	0	8,000	8,000	0
	その他収入	150,000	87,274	△ 62,726	100,000
	特別会計受入金	0	0	0	0
	収入合計（C）	13,121,677	16,949,134	3,827,457	17,499,892
支　出					
	同窓会報発行費	3,650,000	3,480,516	△ 169,484	3,900,000
	（発行通数）	（15,000 通）	（14,143 通）	（△ 857 通）	（14,500 通）
	ニュースレター発行費	1,700,000	1,747,058	47,058	1,700,000
	（発行通数）	（15,000 通）	（13,996 通）	（△ 1,004 通）	（14,500 通）
	校内活動助成費	1,350,000	1,170,000	△ 180,000	1,350,000
	卒業記念品	550,000	527,706	△ 22,294	550,000
	総会旅費補助	150,000	140,900	△ 9,100	150,000
	総会補填	300,000	191,487	△ 108,513	300,000
	（出席者数）	（150 人）	（164 人）	（14 人）	（150 人）
	P同懇補填	200,000	126,590	△ 73,410	200,000
	（出席者数）	（130 人）	（123 人）	（△ 7 人）	（130 人）
	支部総会等旅費	400,000	439,680	39,680	500,000
	支部総会等祝儀	300,000	320,000	20,000	350,000
	会議費	300,000	358,976	58,976	300,000
	慶弔費	200,000	160,000	△ 40,000	200,000
	人件費	700,000	647,274	△ 52,726	700,000
	事務消耗品費	100,000	134,467	34,467	120,000
	切手葉書送料	150,000	228,055	78,055	200,000
	電話料	170,000	174,654	4,654	180,000
	振込手数料	350,000	437,208	87,208	400,000
	設備費	50,000	69,984	19,984	50,000
	雑費	60,000	40,930	△ 19,070	60,000
	同窓会活性化対策費	600,000	753,757	153,757	600,000
	特別会計繰入	0	0	0	463,147
	予備費	1,841,677	0	△ 1,841,677	5,226,745
	支出合計（D）	13,121,677	11,149,242	△ 1,972,435	17,499,892
繰越金	（C）－（D）	0	5,799,892	5,799,892	0
残　高 H30.3.31					
	現金（事務局）		0		
	現金（事務所）		40,859		
	現金（会計）		106,382		
	普通預金（七十七）		3,770,188		
	郵便振込（泉南中山）		1,927,463		
	郵便貯金（大町）				
	未払金				
	前受会費		△ 45,000		
	差引合計		5,799,892		

特別会計　平成29年度収支決算（案）

（平成29年 4 月 1 日～平成30年 3 月31日）

（単位：円）

区　分	項　目	実績額（B）
収　入		
	前年度繰越金	13,961,276
	預金利息	1,124
	収入合計（E）	13,962,400
支　出		
	旗製作費	167,508
	旗送料	0
	振込手数料	1,620
	支出合計（F）	169,128
次年度繰越金	（E）－（F）	13,793,272
預金等残高 H30.3.31		
	定期預金（七十七銀行）	13,200,000
	普通預金（七十七銀行）	593,272
	差引合計	13,793,272

会費納入について

会費納入のお願い

昨年度の会費納入額の目標は、近年中の実績を勘案して九五〇万円に引き下げて設定し、会報やニュースレター、メーリングリスト等を活用し納入をお願いしてきました。結果は八五四万円と目標を約一〇〇万円下回り、残念ながら四年連続での減少となりました。

同窓会は『会員相互の親睦を図る』と共に『母校の発展に寄与する』ことを目的として、今年度も同窓会報・北陵ニュースレターの発行、同窓会総会・ＰＴＡ同窓会合同新年懇親会の開催、全国各支部との交流、北陵祭でのブースの開設、ホームページの充実などに取り組み同窓会の一層の活性化を図ります。また、入学祝い品・卒業記念品の贈呈、大運動会開催やクラブ活動に対する助成を行い、在校生が母校に誇りを持ち、文武一道を目指すことを支援します。

こうした活動の原資となるのが、皆様から納入いただいている同窓会費です。理事会としては、今後も引き続き同窓会の活性化に取り組む所存ですので、多くの皆様に会費を納めていただくようお願い致します。身近の会員相互にお声がけをいただき、会費納入促進にご協力ください。

[寄付のお願い]

理事会としましては、同窓会の財政状況に関連し謹んで以下のお願いをさせていただきます。

平成 25 年度をピークに近年中の会費納入は漸減しており、同窓会活性化と母校支援の積極的な取り組みがいずれ制約される可能性があります。つきましては、皆様に本活動の継続をご理解いただき、年会費とあわせまして寄付のご協力を賜りたく存じます。

皆様のご協力を謹んでお願い申し上げます。

[納入方法]

会報に同封した払込取扱票をお使いください。また下記の銀行口座にお振込みいただいても結構です。その際は振込手数料を差し引いていただき、お名前と卒業回期（あるいは卒業年）をご記入願います。

[振込先]

◇七十七銀行　芭蕉の辻支店　普通口座
口座番号　００９７８４５
宮城県仙台第二高等学校　同窓会
会長　大井　龍司

平成29年度　同窓会費納入状況

回期	会報発送数	口数	入金額
中 28	0	0	0
中 29	1	0	0
中 30	0	0	0
中 31	0	0	0
中 32	0	0	0
中 33	0	0	0
中 34	2	0	0
中 35	2	0	0
中 36	1	0	0
中 37	1	0	0
中 38	0	1	3,000
中 39	1	1	3,000
中 40	16	3	9,000
中 41	20	7	21,000
中 42	22	7	21,000
中 43	22	5	15,000
中 44	41	11	33,000
中 45	35	8	24,000
中 46	52	14	42,000
中 47	43	16	48,000
高 1	64	14	42,000
高 2	92	31	93,000
高 3	122	54	162,000
高 4	137	65	195,000
高 5	137	59	177,000
高 6	164	65	195,000
高 7	124	44	132,000
高 8	168	52	156,000
高 9	180	65	195,000
高 10	194	84	252,000
高 11	199	85	255,000
高 12	214	76	228,000
高 13	185	57	171,000
高 14	200	83	249,000
高 15	201	74	222,000
高 16	219	61	183,000
高 17	216	76	228,000
高 18	195	89	267,000
高 19	168	68	204,000
高 20	171	51	153,000
高 21	235	82	246,000
高 22	262	91	273,000
高 23	198	74	222,000
高 24	183	51	153,000
高 25	197	57	171,000
高 26	236	54	162,000
高 27	214	38	114,000
高 28	206	53	159,000
高 29	170	25	75,000
高 30	179	38	114,000
高 31	170	31	93,000
高 32	231	37	111,000
高 33	194	42	126,000
高 34	182	33	99,000
高 35	189	30	90,000
高 36	185	31	93,000
高 37	185	26	78,000
高 38	173	23	69,000
高 39	178	28	84,000
高 40	198	31	93,000
高 41	218	13	39,000
高 42	202	14	42,000
高 43	180	20	60,000
高 44	175	19	57,000
高 45	207	19	57,000
高 46	198	24	72,000
高 47	212	25	75,000
高 48	206	16	48,000
高 49	208	13	39,000
高 50	176	10	30,000
高 51	181	10	30,000
高 52	173	9	27,000
高 53	190	14	42,000
高 54	211	13	39,000
高 55	186	16	48,000
高 56	198	13	39,000
高 57	211	17	51,000
高 58	206	19	57,000
高 59	217	17	51,000
高 60	230	19	57,000
高 61	226	12	36,000
高 62	234	21	63,000
高 63	250	25	75,000
高 64	262	26	78,000
高 65	297	36	108,000
高 66	272	44	132,000
高 67	289	33	99,000
高 68	313	58	174,000
高 69	310	71	213,000
不明		1	3,000
合計			8,544,000 円

平成二十九年度 同窓会入会式

平成三十年二月二十八日（水）午前十時から仙台二高講堂において、翌日の卒業式に先立ち平成二十九年度同窓会入会式が執り行われ、高70回生三百二十名を本同窓生として迎え入れました。

入会式には理事・評議員合わせて十五名が出席、大井同窓会長の歓迎の挨拶、卒業記念品の贈呈や同窓会についての説明、評議員・常任委員の委嘱、新評議員による挨拶、若手ＯＢからの同窓会の紹介などを行いました。

新同窓生への卒業記念品には卒業証書入れの筒と、昨年同様、菊地喬氏（中46回）より賜ったご寄付をもとに製作された同期会旗が贈呈されました。

ＯＢからの同窓会紹介では、昨年同窓会に入会した尾形真美氏（高69回）が登壇、今年度の同窓会活動の実体験を交えながら、同窓会活動が自分自身の成長の礎となり、是非同窓会活動の活性化に助力してほしいと話がありました。

会の最後には、恒例の応援エールと校内幹事の先生方の紹介と挨拶を行い、新同窓生の入会を祝し、母校の発展を祈念して会を締めくくりました。

同窓会入会式

平成二十九年度 第70回卒業式

平成三十年三月一日（木）この日、東北地方を襲った弾丸低気圧の影響により、仙台では早朝から暴風雨が吹き荒れていた。

このような悪天候の中、仙台二高講堂には卒業生の父兄は元より、同窓会ならびにＰＴＡの役員のほか教職員、在校生（二年生）が参集し、式の開始を今や遅しと待っていた。

午前十時。いよいよ卒業生入場である。各自思い思いの衣装に身を包んだ三二〇名が吹奏楽部の演奏に合わせて入場した。

開式の辞に続いて、君が代斉唱。そして、卒業証書授与である。

担任による点呼に応じ、卒業生が一人一人返答しその場に起立。クラス代表の生徒が登壇し長島勝彦校長より卒業証書を受け取った。今年は、昨年とは異なり自己主張を行う生徒はおらず、厳粛な雰囲気の中、粛々と式は進行して行った。

今年度で退職される長島校長による学校長式辞に続いて、大井龍司同窓会長が卒業生に対し祝辞を述べた。在校生代表による送辞と卒業生代表による答辞の後、校歌斉唱。二高の校歌が厳かに講堂内に響き渡った。

閉会の辞に続き、「卒業生退場」の声に、「ちょっと待った！」と、白ランを身に纏った三名の応援団幹部の卒業生が登壇し、各々二言三言檄を飛ばした。

そして、最後に彼らの旗振りに合わせて「雨か嵐か」を一同高らかに歌い上げ、高70回生は吹奏楽部による行進曲風にアレンジされた校歌演奏の中、講堂を後にした。

卒業式

仙台二高らしい伝統に則った素晴らしい卒業式であった。

式が終了した頃には、春の嵐はいつしか過ぎ去り、風は強いものの空には卒業生達の門出を祝うかのように早春の抜けるような青空が戻っていた。高校生最後のクラスミーティングの後、日の丸のなびく校門では名残惜しそうに思い思いに写真におさまる卒業生達の姿があった。

平成三十年度 入学式

「満開の桜とともに」

平成三十年四月九日（月）、十三時三十分より平成三十年度仙台二高入学式が挙行されました。

例年より早く満開となった桜の木々が新入生を迎え入れ、正門前は晴れやかな表情で記念撮影を行うたくさんの家族でにぎやかでした。

最初に新入生の呼名があり、三二〇名に入学が許可されました。

四月に着任したばかりの久保義洋学校長からは、小惑星探査機はやぶさプロジェクトのプロジェクトマネージャーを務めた川口淳一郎氏が、二年前に本校のＰＴＡ研修会に訪れた際に色紙に綴った「やれる理由を探せ」との言葉を引き合いに、挑戦する勇気を身につけて欲しいとの式辞がありました。

来賓祝辞では佐藤英士ＰＴＡ会長 大井龍司同窓会長 からそれぞれお祝いと激励がありました。

なお大井会長は今回の祝辞の中で、新入生にも同窓会への関心を持ってもらうため、その活動とりわけ活発な支部会活動を紹介しました。

入学式

在籍生徒数 平成30年 4 月 1 日 現在
普通科 1 学年 8 クラス（定員320名）

	男子	女子	計
1 学年	188	134	322
2 学年	192	130	322
3 学年	190	121	311
計	570	385	955

定期戦

硬式野球破れる

平成三十年五月十二日（土）楽天生命パーク宮城において、戦後73回目となる仙台二高・一高硬式野球定期戦が開催されました。天気は快晴で絶好の野球日和となりましたが、結果は残念ながら2―9の惜（？）敗でした。これで、戦後の対戦成績は二高の31勝32敗9分けになりました。

3部定期戦結果速報

試合結果

バレーボール
二高　0－3　一高　＜負け＞

柔道
二高　一高1人残し　一高　＜負け＞

バスケットボール
二高　63－80　一高　＜負け＞

定期戦祝勝会

平成三十年五月十二日（土）の硬式野球定期戦終了後、健闘空しく惜敗した為「準優勝祝勝会」として開催されました。例年、球場内のイーグルスネストで行われていましたが、今年度より会場を青葉城「本丸会館」に移しての開催でした。

平成二十五年から始まった同窓会と応援団ＯＢ会の「合同祝勝会」も今年度で六回目を迎えました。応援団ＯＢの田中会長より合同祝勝会の歴史を、大井同窓会長からは準備に奔走してくれたスタッフへのねぎらいを、そして渡邊元校長からは一、二高の両方に在籍していた立場からの話がありました。

会場はゆったりとした落ち着いた雰囲気の中で行われ、それぞれ親交を深め合いながらの和気あいあいとした歓談となりました。最後に31勝31敗9分けと全くの五分として迎えた今年度の定期戦、来年度は対戦成績を五分五分に戻すべく雪辱期して臨むこと、そしてこの会を更に盛り上げて継続してゆくことを誓い合い閉会しました。

硬式野球定期戦は、毎年五月の第二土曜日に開催されます。

◆北陵会・北杜会の記録

（平成二十九年四月～三十年三月）＝回数、開催日、講師（回期）、演題の順＝

【北陵会】

◆七十回　五月十五日
読売新聞東北総局長
小野　一馬氏（高37回）
「新聞業界の今これから」

◆七十一回　七月二十五日
朝日新聞仙台総局長
後藤　啓文氏（高37回）
「メディアはどこに向かっているか」

◆七十二回　十日十三日
東北大学経済学部長
照井　伸彦氏（高29回）
「ビッグデータと超スマート社会」

◆七十三回　十一月十三日
パネルディスカッション
テーマ「いま二高生が頑張っていること」
コーディネーター・長島勝彦仙台二高校長、パネリスト・生徒会長、応援団長、合気道部、硬式野球部員、物理部部長、北陵祭実行委員長

◆七十四回　二月十九日
公立黒川病院 管理者
本郷　道夫氏（高19回）
「腸内細菌
―身体と心を操るハラのムシ」

【北杜会】

◆三百三十九回　二月二十三日
元石油資源開発代表取締役副社長
鈴木　勝王氏（高16回）
「インドネシア石油戦争の歴史
～太平洋戦争に引き込まれた日本～」

平成30年度二高・一高同窓会 ゴルフ対抗戦開催

平成三十年五月二十日（日）東蔵王ゴルフ倶楽部に於いて平成三十年度二高・一高同窓会ゴルフ対抗戦が開催されました。新緑の中、総勢五十二名で腕を競い合い見事仙台二高同窓会が勝利を収めました。団体戦は、グロス上位十名で大差（二高886―一高925）をもって勝利し、個人戦では中井富雄氏（高17回）が優勝され、ベスグロ賞は齋藤裕氏（高37回）が獲得し、完全勝利となりました。現役諸君に強いエールを送れたと思います。表彰式では両校の懇親を深め、お互いに来年度の勝利を期して解散となりました。

叙勲受章者

瑞宝中綬賞

大阪大学名誉教授　井上　俊殿（高9回・柔道部所属）
信州大学名誉教授　千葉　茂俊殿（高9回・山岳部所属）
黄綬褒章
㈱石井組代表取締役　河合　正広殿（高22回・写真部所属）

同窓生からの寄贈本のご紹介

- 『花野抄』16集　加藤　邪呑（文彬）様（高11回）
- 『消えゆく時の流れに棹さして』　岡崎　正様（中40回）
- 『路傍の祈り』　飯田　晉様（高16回）
- 『黙示録』　田中　宏様（高4回）
- 『われらゆめあり　蔵王会50回記念誌』上野　幸隆様（高25回）
- 『わたしほんとうはいしゃなんです！！　釣りキチ整形外科医の六〇年』　植田　俊之様（高16回）
- 『中国史を彩った女たち』　喜多　雅文様（高34回）
- 『虫歯ゼロへの挑戦』　中鉢　良治様（高18回）
- 『迷いの先に　仕事と人生の羅針盤』　落合　道夫様（高14回）
- 『黒幕はスターリンだった』

過去 3 年間の大学入試合格状況

（　　）内は現役内数

大学＼年度別		30年 3 月 合格者数	29年 3 月 合格者数	28年 3 月 合格者数
国立大学		250 (138)	222 (115)	229 (122)
公立大学		22 (10)	14 (6)	8 (5)
私立大学		472 (148)	429 (99)	390 (136)
大学校・専修・その他の学校		10 (9)	2 (1)	4 (2)
総計		754 (305)	667 (221)	631 (265)
国立大学	北海道大	12 (5)	10 (5)	11 (6)
	弘前大	4 (2)	8 (4)	2 (2)
	岩手大	9 (4)	6 (4)	5 (4)
	東北大 文	4 (1)	7 (6)	11 (9)
	東北大 法	11 (8)	7 (5)	11 (8)
	東北大 経済	11 (7)	15 (10)	11 (6)
	東北大 教育	3 (1)	1	5 (4)
	東北大 理	10 (5)	8 (4)	6 (3)
	東北大 工	29 (19)	23 (10)	30 (13)
	東北大 医 医	12 (6)	13 (8)	23 (12)
	東北大 医 保	5 (4)	6 (3)	2 (2)
	東北大 歯	2	5 (3)	7 (2)
	東北大 薬	6 (4)	2 (2)	3 (2)
	東北大 農	11 (7)	7 (1)	7 (5)
	東北大小計	104 (62)	94 (52)	116 (66)
	宮城教育大	9 (7)	9 (7)	5 (2)
	秋田大	5 (1)	5 (1)	3 (1)
	山形大	24 (13)	27 (18)	18 (7)
	福島大		1	
	茨城大	1 (1)	1	2
	筑波大	2 (1)	3 (1)	4 (2)
	宇都宮大	2 (2)	1 (1)	
	群馬大		2	3 (1)
	埼玉大	6 (3)	3 (2)	3
	千葉大	3 (2)	7 (4)	8 (5)
	お茶の水女子大			
	東京海洋大	2	1	
	電気通信大	3 (1)	1 (1)	
	東京大 文Ⅰ		2 (1)	
	東京大 文Ⅱ	2 (1)		1
	東京大 文Ⅲ	4 (1)		2 (1)
	東京大 理Ⅰ	6 (4)	2	3 (2)
	東京大 理Ⅱ	6 (3)	1	
	東京大 理Ⅲ			1 (1)
	東京大小計	18 (9)	5 (1)	7 (4)
	東京医歯大		1	1 (1)
	東京外語大		2	
	東京学芸大		1 (1)	2 (2)
	東京芸術大		2 (2)	
	東京工業大	4 (3)	4	4 (2)
	東京農工大	1	1	1
	一橋大	9 (5)	3 (2)	9 (7)
	横浜国立大	5 (1)	3 (1)	3 (2)
	長岡技術科学大		1	
	新潟大	2 (1)	3 (2)	3
	富山大	1	2 (1)	
	金沢大	1 (1)	1	
	山梨大			1
	信州大	1	1 (1)	
	静岡大	1 (1)	1	
	愛知教育大	1		
	名古屋大	1 (1)	1	
	滋賀大			1 (1)
	京都大	10 (7)	4 (2)	10 (3)
	京都工芸繊維大			1 (1)
	大阪大	5 (3)	1 (1)	1
	神戸大	2 (1)	1	2
	奈良女子大		1	1 (1)
	鳥取大			1 (1)
	広島大		2	
	九州大	2 (1)		
	宮崎大			1 (1)
	鹿児島大		1 (1)	
	琉球大		1	
	国立大学合計	250 (138)	222 (115)	229 (122)
公立大学	札幌医科大			1
	岩手県立大			
	宮城大	7 (5)	2	2 (2)
	国際教養大		1 (1)	1 (1)
	山形県立米沢栄養大			1 (1)
	福島県医科大	4 (2)	4 (1)	2 (1)
	高崎経済大	2 (1)	1 (1)	1
	首都大東京	2 (1)	4 (2)	
	横浜市立大	1		
	都留文科大	1 (1)	1 (1)	
	長野県立大	1		
	静岡健立大	1		
	名古屋市立大	1		
	大阪府立大	1		
	山口東京理科大	1		
	九州歯大		1	
	公立大学合計	22 (10)	14 (6)	8 (5)
国公立大学合計		272 (148)	236 (121)	237 (127)
私立大学	酪農学園大	1		2
	千歳科学技大	1		
	岩手医科大	8 (1)	5	3
	東北学院大	13 (6)	20 (8)	16 (6)
	東北工業大	1		2 (1)
	東北福祉大	1 (1)	3	3 (2)
	東北医科薬科大	29 (10)	32 (10)	24 (4)
	宮城学院女子大	2 (2)	3 (2)	2 (2)
	尚絅学院大	3 (1)		1 (1)
	東北芸術工科大	1 (1)		
	奥羽大		1 (1)	
	つくば国際大		1	
	国際医療福祉大	1 (1)	3 (2)	
	自治医科大	1 (1)	1 (1)	1
	獨協医科大		2	3
	白鷗大			1
	獨協大		3	
	埼玉医大	1		
	文教大	5 (5)		
	神田外語大	1 (1)		
	千葉工大	4 (1)	3	
	東京歯科大	1	2	
	青山学院大	7 (10)	9 (3)	2 (1)
	学習院大		1	1 (1)
	北里大	7 (1)	10 (2)	9 (4)
	杏林大			2
	慶應義塾大	23 (10)	14 (2)	17 (8)
	工学院大	6	3	2
	國學院大			2
	国際基督教大	1		
	駒澤大	3 (1)	3	2 (1)
	芝浦工大	17 (2)	17 (3)	19 (4)
	順天堂大	2		6 (4)
	上智大		3	3 (2)
	昭和大	1	5	4 (1)
	昭和女子大			1
	女子栄養大			1 (1)
	白百合女子大		1	
	成蹊大	4 (2)	2 (2)	2 (2)
	成城大	2 (1)		
	専修大	1	4 (1)	2 (2)
	創価大		3 (3)	
	玉川大	1 (1)		
	中央大	62 (26)	45 (10)	57 (33)
	津田塾大	5 (2)	7 (3)	4 (3)
	帝京大		2	
	東海大	3	3	4 (2)
	東京医大	1		
	東京工科大	1	1	3
	東京慈恵会医大		1	2 (1)
	東京女子大	5 (1)	1 (1)	1 (1)
	東京女子医科大		3	1
	東京電機大	3	4 (2)	2
	東京都市大	3		2
	東京農業大	10 (2)	12 (1)	6 (4)
	東京薬科大		1	5
	東京理科大	53 (12)	43 (6)	46 (2)
	東邦大		1	1
	東洋大	4 (2)	11 (4)	
	日本大	7 (2)	12 (3)	10 (1)
	日本医科大	2		
	日本歯科大	1	3	1
	日本獣医生命大			3
	日本女子大	1 (1)	1 (1)	2 (1)
	法政大	29 (8)	22 (6)	18 (7)
	星薬大		1	2
	武蔵大	3 (1)		1
	武蔵野大		1	
	明治大	38 (15)	47 (8)	30 (13)
	明治学院大	4 (1)	3 (3)	1 (1)
	明治薬大	1		1
	立教大	9 (4)	7 (3)	3 (1)
	早稲田大	35 (12)	26 (4)	32 (13)
	学習院女子大	1		
	麻布大	2	1	1
	神奈川大	1	2 (1)	2 (1)
	関東学院大		2	
	新潟医療福祉大	1		
	金沢医大	1		
	金沢工大	1		
	豊田工大	1 (1)		
	京都女子大	2		
	同志社大	8 (2)	5 (1)	1
	立命館大	11 (1)	5 (2)	9 (4)
	大阪薬大	1		
	関西大	2	1	
	関西学院大	1		1
	龍谷大			1
	近畿大	1	1	1
	兵庫医大	1		
	岡山理大	1		
	産業医大			1
	沖縄大	1		
	沖縄国際大			1 (1)
	私立大学合計	472 (148)	429 (99)	390 (136)
大学校	防衛大学校	2 (2)		2 (1)
	防衛医科大	2 (1)		1
	航空保安大学校	1 (1)		
	水産大学校	1 (1)		
	大学校合計	6 (5)		3 (1)
その他	大学・短大・専門	4 (4)	2 (1)	1 (1)
	その他合計	4 (4)	2 (1)	1 (1)

部活動の記録／運動部成績

部　名	活動実績（大会名・実績・選手名）
ラグビー部	**全国高等学校合同チームラグビーフットボール大会** （長野県菅平高原サニアパーク） 佐藤新平、山野真弘の２名が東北地区代表選手として選抜 **全国高校ラグビー大会宮城県予選**（めぐみ野サッカー場） ２回戦（９月６日） 仙台二・仙台南・高専広瀬合同　19対15　気仙沼向洋 ３回戦（９月９日） 仙台二・仙台南・高専広瀬合同　０対59　石巻工業 **新人大会**（石巻総合運動公園） ２回戦（11月４日） 仙台二・仙台東・高専広瀬合同 ０対24　仙台南・石巻・宮水合同
陸上競技部	**県高校総体** （５月26日～29日・ひとめぼれスタジアム宮城：利府） 走高跳　澁谷　侃②　第２位 5000mW　相沢　美月③　第３位 三段跳　岩崎　海斗②　第３位　以上東北大会出場 ８種競技　細渕　椋太②　第５位 **東北高校総体** （６月16日～19日・NDソフトスタジアム山形：天童市） 5000mW　相沢　美月③　第２位　インターハイ出場 走高跳　澁谷　侃②　第10位 三段跳　岩崎　海斗②　第29位 **全国高等学校総合体育大会陸上競技大会**〈インターハイ〉 （７月29日・NDソフトスタジアム山形：天童市） 5000mW　相沢　美月③　予選敗退 **仙台一高・二高　定期戦（８月３日 仙台市陸上競技場）** 仙台二高 205点－仙台一高 187点　仙台二高勝利（９連覇） **県新人大会**（９月８日～11日・ひとめぼれスタジアム宮城） 男子総合　第６位 走高跳　澁谷　侃②　第１位 三段跳　岩崎　海斗②　第２位 走高跳　三浦　玲奈①　第２位 800m　千葉　琢巳②　第３位 400mH　細渕　椋太②　第３位 5000mW　千葉　菜央②　第４位 以上６名、東北大会出場 ８種競技　伊東　竜星①　第５位 棒高跳　榎森　遼　①　第６位 走幅跳　岩崎　海斗②　第７位 400m　高橋　由依②　第８位 1500m　高橋　拓未②　第８位 走幅跳　中久保萌織②　第８位 **東北新人大会** （９月29日～10月１日・岩手県北上市総合運動公園陸上競技場） 走高跳　澁谷　侃②　第３位 走高跳　三浦　玲奈①　第13位 三段跳　岩崎　海斗②　第18位 5000mW　千葉　菜央②　第19位 800m　千葉　琢巳②　予選敗退 400mH　細渕　椋太②　予選敗退 **全国高校駅伝競走大会宮城県予選**（10月22日　栗原市） 男子　第８位 女子　第９位
ハンドボール部	**平成29年度　宮城県高等学校ハンドボール競技新人大会** 二回戦　仙台二　26－20　東北 準々決勝　仙台二　22－16　仙台西 準決勝　仙台二　18－17　聖和学園 決勝　仙台二　18－25　利府 **平成29年度　全国高等学校ハンドボール選抜大会　宮城県第二次予選会**（１月５日～６日）（優勝） （新人大会ベスト４による総当たり戦、２勝１分 得失点差により優勝、東北大会出場） 仙台二　33－19　古川工業 仙台二　24－24　聖和学園 仙台二　24－13　利府 **平成29年度　東北高等学校ハンドボール選抜大会** （２月２日～４日）（東北第４代表として全国大会出場） 第１代表予選リーグ　仙台二　17－20　不来方 仙台二　18－19　山形中央 第３代表決定トーナメント　仙台二　24－21　湯沢 仙台二　23－33　山形中央 第４代表決定戦　仙台二　24－19　盛岡南 **平成29年度　全国高等学校ハンドボール選抜大会** （３月23日～24日） 一回戦　仙台二　28－37　那賀（和歌山）

部　名	活動実績（大会名・実績・選手名）
硬式野球部	**第11回春季宮城県高等学校野球中部地区大会** 第１回戦（４月15日）仙台二５－４県工業 第２回戦（４月23日）仙台二７－０仙台商 準決勝（５月４日）　仙台二０－７仙台育英 **第64回春季宮城県大会** 第１回戦（５月20日）仙台二１－４黒川 **第72回仙台一高・仙台二高硬式野球定期戦（雨天のため中止）** **第99回全国高等学校野球選手権宮城大会** 第１回戦（７月14日）仙台二３－２登米 第２回戦（７月18日）仙台二５－４亘理 第３回戦（７月24日）仙台二９－１泉松陵 第４回戦（７月26日）仙台二３－４石巻工 **第11回秋季宮城県高等学校野球中部地区大会** 第１回戦（８月18日）　仙台二１－４聖和 敗者復活第１回戦（８月20日）仙台二10－３東北生文 敗者復活第２回戦（８月27日）仙台二１－４仙台一
軟式野球部	**仙台一高・仙台二高軟式野球定期戦** ０対１　負　（名取市民球場５月27日） **第66回宮城県高等学校軟式野球春季大会** （仙台商業グラウンド ６月３日） １回戦　仙台二高　VS　仙台工業　０対５　負 **第62回全国高等学校軟式野球選手権宮城大会** （松島球場７月15日、17日） １回戦　仙台二高　VS　泉高　11対４　勝 ２回戦　仙台二高　VS　気仙沼高　２対16　負 **第58回宮城県高等学校軟式野球秋季大会** （鹿島台中央公園野球場９月30日、10月２日） ２回戦　仙台二高　VS　仙台高校　４対３　勝 準決勝　仙台二高　VS　仙台青陵　０対３　負　第三位
サッカー部	**高校総体（県ベスト16）** **・地区予選**（４月29日～５月８日） 仙台二５－０仙台工業 仙台二１－０仙台西 仙台二２－１生文 仙台二２－３聖和 **・県大会**（５月27日、28日） １回戦　仙台二２－１名取北 ２回戦　仙台二１－４東北学院 **選手権大会（県ベスト16）** **・１次予選**（７月12日～13日） 仙台二７－０宮城農業 **・決勝トーナメント**（10月21日、22日） １回戦　仙台二５－１富谷 ２回戦　仙台二０－２東北 **Ｍ２リーグ（６勝２分０敗　高円宮杯Ｍリーグ Ｕ－18　２部　５月20日～12月下旬）** 仙台二４－０仙台商業 仙台二６－０名取北 仙台二３－０東北Ⅱ 仙台二２－０榴ヶ岡 仙台二２－０東北生文 仙台二２－１泉松陵 仙台二１－１塩釜 仙台二３－３富谷 **・１部昇格決定戦**（12月～１月） 仙台二３－２仙台ＦＣ 仙台二１－０県工Ⅱ 仙台二２－０聖和Ⅱ 仙台二１－４利府 **新人大会（県ベスト16）** **・地区予選**（10月２日～10月12日） 仙台二０－０多賀城 仙台二４－０泉館山 仙台二０－３仙台育英 **・代表決定戦** 仙台二２－１東北生文（延長） **・県大会**（11月17日～11月20日） １回戦　仙台二９－１本吉響 ２回戦　仙台二１－２東北学院（延長）
ラグビー部	**全国７人制大会宮城県予選**（石巻総合運動公園　４月22日） 仙台二・宮城水産合同　０対48　白石工業 仙台二・宮城水産合同　０対41　仙台南 **高校総体**（石巻総合運動公園） １回戦（５月21日） 仙台二・仙台南・高専広瀬合同　19対40　佐沼

部　名	活動実績（大会名・実績・選手名）
バドミントン部	・男子 1回戦　仙台二　0－3　仙台三 ・女子 1回戦　仙台二　3－0　仙台高専名取 2回戦　仙台二　0－3　常磐木 県ジュニア選手権大会（8月13日～15日） ・男子ダブルス 菅原拓磨・山下薫組、亀井怜・高橋幹大組、小島駆・山中勇騎組　3回戦進出 ・男子シングルス 菅原拓磨　5回戦進出（ベスト64） 亀井怜、高橋幹大　4回戦進出 ・女子ダブルス 森本彩里紗・梶原千波組、大沼美穂・横山小夏組　4回戦進出（ベスト64） 近江綾和・反畑栞組　3回戦進出 ・女子シングルス 横山小夏　4回戦進出 県新人大会　個人対抗戦 （10月24日～25日　セキスイハイムスーパーアリーナ） ・男子ダブルス 菅原拓磨・山下薫組、小島駆・山中勇騎組　3回戦進出 ・男子シングルス 菅原拓磨　初戦敗退 ・女子ダブルス 大沼美穂・横山小夏組　3回戦進出 森本彩里紗・梶原千波組、近江綾和・反畑栞組、小野寺梨杜・髙橋結組　初戦敗退 ・女子シングルス 横山小夏　初戦敗退 県新人大会　学校対抗戦（11月13日～15日　宮城野体育館） ・男子 2回戦　仙台二　1　－　3　泉 ・女子 1回戦　仙台二　2　－　3　松島
テニス部	H28　東北春季ジュニアテニス選手権大会 ・U18女子シングルス 1回戦　岩月遥①　4－8　種田詩織（福島・磐城） 2017春季ジュニア（4月29日、30日、5月3日～5月7日） ・U18男子シングルス 1回戦　横山明知②　尾形優②　清野巧真② 鈴木荘太郎②　米村虎太朗② 2回戦　菊地真央②　堀亮介③　申宰虎②　岩瀬寛史③ 川口理央②　菅野太一③　赤田智弥③ 滝澤優気②　高岡怜史③ 3回戦　網元翔一②　皆木渓夏③　杉山錬③ 4回戦　佐藤悠太③　阿部圭悟③　井澤颯③　松尾祐希② 臼澤嘉③ 5回戦　西郷匠③　馬場雄大③（ベスト32） 7回戦　三沢達彦（ベスト8） 5、6位決定戦1回戦　三沢6－2佐々木悠賀（仙台東） 同2回戦　三沢0－6小野寺翔（聖和）（6位） ・U18男子ダブルス 2回戦　鈴木荘太郎②・滝澤優気② 佐藤悠太③・佐藤歳三③ 清野巧真②・網元翔一② 申宰虎②・菊地真央② 横山明知②・川口理央② 高岡怜史③・赤田智弥③ 3回戦　尾形優②・松尾祐希② 4回戦　臼澤嘉③・皆木渓夏③　張辰吉③・岩瀬寛史③ 菅野太一③・堀亮介③　阿部圭悟③・杉山錬③ 5回戦　井澤颯③・遠藤（仙台南） 馬場雄大③・相馬（仙台）（ベスト16） 6回戦　三沢達彦③・西郷匠③（ベスト8） ・U18女子シングルス 2回戦　齋藤優里③　大友春奈③　大原朝妃③ 後藤乃々花③　熊谷季璃②　森一乃② 齋藤彩香② 3回戦　相原史佳③　西條結奈③ 4回戦　富谷帆乃夏③　遠藤悠③ 5回戦　横山歩美②（ベスト32） 決勝　岩月遥②（優勝）　東北大会出場 ・U18女子ダブルス 1回戦　大原朝妃③・西條結奈③ 2回戦　齋藤優里③・相原史佳③　熊谷季璃②・森一乃② 3回戦　後藤乃々花③・大友春奈③ 4回戦　横山歩美②・佐藤茜（泉館山）（ベスト32） 5回戦　遠藤悠③・富谷帆乃夏③（ベスト16） 決勝　岩月遥②・佐藤弘菜（宮城学院）（優勝） 東北大会出場

部　名	活動実績（大会名・実績・選手名）
バスケットボール部	第66回宮城県高校総体仙塩地区予選 ・男子　仙台二　96－54　泉（県大会出場決定） ・女子　仙台二　53－94　仙台商業 仙台二　64－72　塩釜 ・男子 1回戦　仙台二　81－41　石巻北 2回戦　仙台二　44－92　東北生活文化大 第39回宮城県高等学校バスケットボール選手権大会1次予選 ・男子　仙台二　95－68　白石工業 仙台二　72－92　古川学園 ・女子　仙台二　42－97　古川 平成29年度宮城県高等学校新人大会バスケットボール競技仙塩地区予選会 ・男子 （予選リーグ） 仙台二　99－46　尚絅 仙台二　78－65　仙台三（県大会出場決定） （順位決定トーナメント） 仙台二　63－75　仙台城南 ・女子 （予選リーグ） 仙台二　9－225　仙台一 仙台二　30－84　東北学院榴ヶ岡
バレーボール部	第72回国民体育大会バレーボール競技 少年の部 宮城県選手選考会 兼 第25回宮城県高等学校バレーボール男子・女子選手権大会 （4月25日～26日　セキスイハイムスーパーアリーナ） 1回戦　仙台二0－2白石工　（ベスト16） 第67回バレーボール定期戦（5月20日　仙台一） 仙台二3－0仙台一　通算成績34勝33敗 第66回宮城県高等学校総合体育大会バレーボール競技《男子》 （6月3日～5日　セキスイハイムスーパーアリーナ他） 1回戦　仙台二2－0仙台 2回戦　仙台二2－0仙台高専 3回戦　仙台二0－2仙台商　（ベスト16） 第70回全日本バレーボール高等学校選手権大会宮城県大会一次予選会 兼 第40回仙台放送杯争奪宮城県大会 一次予選 （9月9日　大崎市三本木総合体育館） 2回戦　仙台二0－2柴田農 平成29年度　第38回仙台市民総体バレーボール競技【高等学校の部】（11月3日　仙台三） 予選リーグ　仙台二0－2東北生文大高 仙台二0－2多賀城 仙台二0－2仙台三 平成29年度　宮城県高等学校バレーボール競技新人大会仙塩地区大会（12月23日　仙台西） 一次リーグ　仙台二0－2仙台西 仙台二0－2仙台一 仙台二0－2仙台育英
バドミントン部	県バドミントン選手権大会 （男子：4月30日～5月2日　女子：4月28日～30日） ・男子ダブルス 倉増太郎・齋藤凜組、網野可偉・小島昇馬組、高橋幹大・亀井怜組、山下薫・小島駆組　3回戦進出 ・男子シングルス 奈良樹　5回戦進出（ベスト64） 齋藤凜　4回戦進出 倉増太郎、小島昇馬、網野可偉、菅原拓磨、芦川直輝、今野巧夢、横谷隆佑　3回戦進出 ・女子ダブルス 大泉佐緒莉・阿部みなみ組、大沼美穂・水越結友組　3回戦進出 ・女子シングルス 大泉佐緒莉、横山小夏　4回戦進出 阿部みなみ、森本彩里紗、梶原千波　3回戦進出 県総体個人対抗戦（5月26日～27日） ・男子ダブルス 倉増太郎・齋藤凜組　4回戦進出（ベスト32） 奈良樹・小島昇馬組　2回戦進出 ・男子シングルス 奈良樹　3回戦進出（ベスト64） 齋藤凜　2回戦進出 ・女子ダブルス 大泉佐緒莉・阿部みなみ組、反畑爽・吉田由衣組、大沼美穂・水越結友組　2回戦進出 ・女子シングルス 大泉佐緒莉、横山小夏　3回戦進出（ベスト64） 反畑爽　2回戦進出 県総体学校対抗戦 （男子：6月2日、4日～5日　女子：6月3日～5日）

部　名	活動実績（大会名・実績・選手名）
テ　ニ　ス　部	**・男子シングルス** ２回戦　菊地真央② ３回戦　網元翔一②　松尾祐希② ５回戦　尾形優②　申宰虎②（ベスト16） **・男子ダブルス** １回戦　滝澤優気②・菊地真央②　申宰虎②・清野巧真② ２回戦　網元翔一②・川口理央② ５回戦　尾形優②・松尾祐希②（ベスト8） **・女子シングルス** １回戦　森一乃②　中里舞咲② ２回戦　熊谷季璃②　青木七穂① ５回戦　横山歩美②（ベスト8） **・女子ダブルス** １回戦　中里舞咲②・村上万鈴① ２回戦　熊谷季璃②・森一乃② ３回戦 ４回戦　横山歩美②・青木七穂①（ベスト16） **・男子団体** １回戦　仙台二５－０泉 ２回戦　仙台二５－０富谷 ３回戦　仙台二３－２仙台一 決勝リーグ 仙台二０－５東北学院 仙台二１－４東陵 仙台二２－３聖和（総合３位） **・女子団体** ２回戦　仙台二　２－３　宮城学院
ソフトテニス部	**県春季大会兼国体一次選考会** **・男子** 佐治・千葉　１回戦　④－０　柴田農林 ２回戦　３－④　白石 石井・櫻井　１回戦　３－④　石巻 黒須・蛯名　１回戦　④－１　古川学園 ２回戦　１－④　東北学院 佐藤・伊藤　１回戦　２－④　宮城広瀬 **・女子** 藤田・鈴木　１回戦　④－０　東北 ２回戦　④－１　古川黎明 ３回戦　④－０　石巻桜坂 ４回戦　０－④　聖和　ベスト32 岩崎・吉田　１回戦　④－１　仙台東 ２回戦　④－１　仙台育英 ３回戦　④－０　築館 ４回戦　１－④　聖和　ベスト32 佐倉・西澤　１回戦　④－２　尚絅 ２回戦　④－０　村田 ３回戦　１－④　古川 桑原・百々　１回戦　１－④　気仙沼 **県高校総体** **・男子団体戦** ２回戦　③－０　泉館山 ３回戦　②－０　聖和 ４回戦　１－②　宮城農業 **・女子団体戦** ２回戦　②－１　仙台商業 ３回戦　②－０　登米 ４回戦　②－１　泉松陵 ５回戦　０－２　築館　ベスト８ **・男子個人戦** 黒須・蛯名　１回戦　④－３　仙台工業 ２回戦　０－④　仙台三 千葉・松林　１回戦　３－④　仙台一 石井・櫻井　１回戦　３－④　学院榴ヶ岡 佐藤・伊藤　１回戦　④－０　登米総合 ２回戦　２－④　東北 **・女子個人戦** 藤田・鈴木　２回戦　④－２　古川学園 ３回戦　④－２　宮城農業 ４回戦　０－④　東北 岩崎・吉田　２回戦　④－１　白百合 ３回戦　④－３　涌谷 ４回戦　１－④　利府 佐倉・西澤　１回戦　④－２　東北 ２回戦　２－④　生文大 桑原・髙橋　１回戦　１－④　聖和 **県夏季大会** **・男子** 庄子・髙畑　１回戦　④－１　多賀城 ２回戦　０－④　東北 千葉・千葉　１回戦　④－０　気仙沼西

部　名	活動実績（大会名・実績・選手名）
テ　ニ　ス　部	**平成29年度宮城県高等学校総合体育大会**（テニス競技） （５月26日～５月28日、６月３日～６月５日） **・男子シングルス** １回戦　鈴木荘太郎② ２回戦　滝澤優気②　菅野太一③　清野巧真②　申宰虎② 堀亮介③　米村虎太朗②　佐藤歳三③ 菊地真央②　横山明知②　川口理央② ３回戦　岩瀬寛史③　赤田智弥③　佐藤悠太③ 高岡怜史③　杉山錬③ ４回戦　皆木渓夏③　松尾祐希②　阿部圭悟③ 網元翔一② ５回戦　馬場雄大③　張辰吉③　井澤颯③　臼澤嘉③ ６回戦　三沢達彦③（ベスト32） ７回戦　西郷匠③（ベスト16） **・男子ダブルス** １回戦　鈴木荘太郎②・滝澤優気② ２回戦　佐藤悠太③・佐藤歳三③　申宰虎②・菊地真央② ３回戦　臼澤嘉③・皆木渓夏③　網元翔一②・川口理央② 張辰吉③・岩瀬寛史②　赤田智弥③・高岡怜史③ ４回戦　菅野太一③・堀亮介③ ５回戦　馬場雄大③・井澤颯③　杉山錬③・阿部圭悟③ （ベスト32） ６回戦　西郷匠③・三沢達彦③（ベスト16） **・女子シングルス** １回戦　西條結奈③　森一乃②　齋藤彩香② ２回戦　後藤乃々花③　大原朝妃③　大友春奈③ 中里舞咲②　熊谷季璃②　大塚理子② ３回戦　齋藤優里③ ４回戦　遠藤悠③　富谷帆乃夏③ ５回戦　横山歩美②（ベスト32） **・女子ダブルス** １回戦　齋藤彩香②・中里舞咲② ２回戦　後藤乃々花③・大友春奈③ 大原朝妃③・西條結奈③ ３回戦　熊谷季璃②・森一乃② ４回戦　遠藤悠③・富谷帆乃夏③ 成田未和③・横山歩美② **・男子団体** １回戦　仙台二１－２黒川 **・女子団体** １回戦　仙台二　２－０　仙台商業 ２回戦　仙台二　０－２　宮城学院 **第72回国体選考会（少年男女の部）**（７月３日～７月６日） **・U18男子シングルス** 三沢達彦③（ベスト16） **・U18女子シングルス** １回戦　大江花奈①　川合悠乃①　大塚理子② 中里舞咲②　村上万鈴①　和田歩① ３回戦　齋藤彩香②　熊谷季璃②　森一乃② ４回戦　青木七穂①（ベスト32） ５回戦　横山歩美②（ベスト16） **第39回東北Jr テニス選手権大会　岩手県安比高原** （７月14日～７月18日） **・U18男子シングルス　予選** １回戦　三沢達彦③　５－８　網代凱（山形日大山形） **・U18女子シングルス　本戦** １回戦　岩月遥②　８－１　原未優(秋田•聖霊女子短大) ２回戦　岩月遥②　３－８　佐々木美和(福島•磐城桜ヶ丘) **・U18女子ダブルス** １回戦　岩月遥①佐藤弘菜（宮城学院） ３－８　猪狩・鈴木（福島・磐城桜ヶ丘） **第69回宮城県民体育大会　テニス競技会** （７月28日～７月31日） **・U18女子シングルス** １回戦　大塚理子②　中里舞咲②　森一乃②　和田歩① 村上万鈴① ２回戦　熊谷季璃②　青木七穂① ５回戦　横山歩美②（ベスト16） **・U18女子ダブルス** １回戦　熊谷季璃②・森一乃②　大塚理子②・佐藤優月 （利府）　大江花奈①・和田歩① ２回戦　青木七穂①・村上万鈴① **平成29年度宮城県夏季ジュニア選手権大会** （８月17日～８月20日） **・U18女子シングルス** １回戦　和田歩①　大江花奈①　村上万鈴① ３回戦　中里舞咲② ４回戦　横山歩美②　青木七穂① **平成29年度宮城県等々学校新人大会テニス競技** （９月９日～11日、10月５日～７日）

部　名	活動実績（大会名・実績・選手名）
水　球　部	女子100M背泳ぎ　1年　川口明紗陽　決勝第 6 位 女子400Mリレー　決勝第 6 位 学校対抗　女子第 6 位 **宮城県高等学校選手権水泳（水球）競技大会（県総体）** 第 2 位 **第72回東北水泳（水球）競技大会** **第65回東北高等学校選手権水泳（水球）競技大会** **第85回日本高等学校選手権水泳（水球）競技大会予選会** 第 4 位 **宮城県高等学校新人大会水泳（水球）競技大会** 第 2 位 **第30回東北選手権水球競技大会** 第 5 位
卓　球　部	**宮城県高等学校総合体育大会卓球競技仙塩地区予選** **・男子団体** 1 回戦　仙台二　3 － 1　仙台二華 2 回戦　仙台二　3 － 2　泉館山　県大会出場決定 決勝トーナメント 2 回戦 仙台二　1 － 3　利府 **・女子団体** 1 回戦　仙台二　2 － 3　東北 第 2 次敗者復活戦 仙台二　3 － 2　聴覚支援 仙台二　0 － 3　富谷 **・男子シングルス** 郷古③内山③櫻田③福田②　県大会出場決定 **・男子ダブルス**　櫻田・内山　県大会出場 **・女子ダブルス**　県大会出場ならず **・女子シングルス**　県大会出場ならず **宮城県高等学校総合体育大会卓球競技** （6 月 3 日～ 5 日　泉総合運動場体育館） **・男子団体** 1 回戦　仙台二　3 － 0　仙台南 2 回戦　仙台二　3 － 0　古川 3 回戦　仙台二　3 － 0　白石 4 回戦　仙台二　1 － 3　東北学院　ベスト 8 **・男子ダブルス** 櫻田③・内山③　1回戦敗退 **・男子シングルス** 櫻田③・内山③・福田②　1 回戦敗退 郷古③　2 回戦敗退 **全日本卓球選手権大会ジュニアの部仙塩地区予選会** （8 月18日　塩釜ガス体育館） **・男子**　長谷川①・境①・早川①・武石①　県大会出場 **・女子**　髙橋②　県大会出場 **全日本卓球選手権大会ジュニアの部宮城県予選会** （9 月10日　若柳総合体育館） 長谷川①・境①・早川①　3 回戦敗退 髙橋②　2 回戦敗退 武石①　1 回戦敗退 **平成29年度宮城県高等学校新人大会仙塩地区予選** （10月12日～14日　泉総合運動場体育館） **・男子団体** 2 回戦　仙台二　3 － 2　学院榴ヶ岡　県大会出場決定 決勝トーナメント 仙台二　0 － 3　東北学院 順位決定戦 仙台二　3 － 2　東北　5 位 **・女子団体** 1 回戦　仙台二　0 － 3　青陵 第 2 次敗者復活戦 仙台二　2 － 3　宮城広瀬 第 3 次敗者復活戦 仙台二　3 － 2　松島 仙台二　0 － 3　向山　県大会出場ならず **・男子シングルス** 福田②・高橋（昂）②・長谷川①・境①・渡邉礼① 県大会出場決定 **・女子シングルス**　髙橋（歩）②　県大会出場決定 **・男子ダブルス**　県大会出場ならず **・女子ダブルス**　県大会出場ならず **平成29年度宮城県高等学校新人卓球大会** （11月 1 日～ 3 日　於　大和町総合体育館） **・男子団体** 2 回戦　仙台二　3 － 2　県工 3 回戦　仙台二　2 － 3　石巻工　ベスト16 **・男子シングルス** 境①　3 回戦敗退　ベスト64 渡邉①　髙橋昂②　2 回戦敗退 長谷川①　福田②　1 回戦敗退

部　名	活動実績（大会名・実績・選手名）
ソフトテニス部	2 回戦　④－ 0　迫桜 3 回戦　④－ 1　白石工業 4 回戦　2 －④　東北 山口・蛯名　1 回戦　④－ 0　迫桜 2 回戦　2 －④　東北 長南・中島　1 回戦　④－ 0　気仙沼西 2 回戦　1 －④　岩ヶ崎 **・女子** 杉山・髙橋　1 回戦　不戦勝　柴農川崎 2 回戦　④－ 3　古川学園 3 回戦　0 －④　聖和 桑原・山田　1 回戦　1 －④　宮城第一 飯田・山崎　1 回戦　0 －④　聖和 鈴木・打矢　1 回戦　④－ 2　亘理 2 回戦　0 －④　大河原商 **県新人大会** **・男子団体戦** 2 回戦　②－ 0　白石 3 回戦　②－ 0　仙台一 4 回戦　0 －②　古川 インドア代表決定戦　②－ 1　築館 **・女子団体戦** 2 回戦　②－ 1　白石 3 回戦　0 －②　聖ウルスラ **・個人戦（男子）** 千葉・千葉 1 回戦　④－ 2　聖ウルスラ 2 回戦　④－ 1　富谷 3 回戦　④－ 2　東北 4 回戦　2 －④　東北　ベスト16 山口・蛯名 1 回戦　3 －④　学院榴ヶ岡 **・個人戦（女子）** 杉山・髙橋 1 回戦　1 －④　築館 打矢・山崎 1 回戦　2 －④　利府
水　泳　部	**宮城県高等学校総合体育大会水泳競技大会**（競泳） 男子200Mバタフライ　3 年　加藤優弥　決勝第 7 位 東北大会出場 男子400M個人メドレー　1 年　堀野真生　決勝第 9 位 3 年　宮内　拓　決勝第10位 男子800Mリレー　決勝第 9 位 東北大会出場 男子100M平泳ぎ　3 年　齋藤眞怜　決勝第 6 位 東北大会出場 男子100Mバタフライ　3 年　加藤優弥　決勝第 8 位 東北大会出場 女子200M平泳ぎ　3 年　小林留果　決勝第 8 位 東北大会出場 女子800M自由形　1 年　村上菜穂　決勝第 8 位 東北大会出場 女子400Mメドレーリレー　決勝第 6 位 東北大会出場 女子100M背泳ぎ　1 年　川口明紗陽　決勝第10位 女子200Mバタフライ　3 年　河村真結子　決勝第 4 位 東北大会出場 女子400Mリレー　決勝第 7 位 東北大会出場 女子100M平泳ぎ　3 年　小林留果　決勝第 6 位 東北大会出場 女子400M自由形　1 年　村上菜穂　決勝第 9 位 女子100Mバタフライ　3 年　河村真結子　決勝第 4 位 東北大会出場 学校対抗　女子第 7 位 **宮城県高等学校新人大会水泳競技大会**（競泳） 男子800Mリレー　決勝第 7 位 男子400M個人メドレー　1 年　堀野真生　決勝第 6 位 男子400Mメドレーリレー　決勝第 9 位 男子400Mリレー　決勝第 9 位 男子200M個人メドレー　1 年　堀野真生　決勝第 6 位 男子400Mリレー　決勝第 9 位 女子400M個人メドレー　2 年　清水夏海　決勝第 9 位 女子200M背泳ぎ　1 年　川口明紗陽　決勝第 6 位 女子200M平泳ぎ　2 年　小林遥　決勝第 7 位 女子400M自由形　1 年　村上菜穂　決勝第 6 位 女子400Mメドレーリレー　決勝第 5 位 女子400Mリレー　決勝第 5 位 女子200M個人メドレー　1 年　村上菜穂　決勝第 6 位 2 年　小林遥　決勝第 9 位

部　名	活動実績（大会名・実績・選手名）
フェンシング部	**2018年JOCジュニアオリンピックカップ ジュニア・カデ フェンシング大会県予選会**（11月３日～14日　グランディ21） 本大会出場権（県協会推薦枠）獲得者 **・ジュニアの部** 男子エペ　佐々木優斗（２位） 男子サーブル　管　稜弥（２位） 女子フルーレ　金野　眞子（１位） 女子エペ　小山　未来（１位） **・カデの部** 男子エペ　齋藤　拓真（１位）、鄭　俊（２位） 女子エペ　本間理紗子（１位） 女子サーブル　中島　彩乃（２位） **平成29年度宮城県高等学校選抜選手権大会** （12/23～12/25　グランディ21） **・学校対抗　男子フルーレ** （佐々木、尾川、酒井、赤石、齋藤） １回戦　38－V45　仙台一 **・女子フルーレ**　第３位（小山、金野、高柳、中島、本間） １回戦　V43－18　仙台南 準決勝　24－V33　仙台 シード決定戦　V43－39　仙台一 **・男子エペ**　第１位（佐々木、虻川、赤石、齋藤、鄭） 準決勝　V45－37　仙台三 決勝　V45－24　仙台南 **・女子エペ**　第１位（小山、高柳、本間、及川、松岡） １回戦　V45－31　気仙沼 準決勝　V45－38　仙台 決勝　V45－40　仙台一 **・男子サーブル**　第１位（尾川、管、酒井、中條、吉村） 準決勝　V45－44　仙台 決勝　V45－33　仙台三 **・女子サーブル**　第３位（金野、中島、今野、菊池、原） 準決勝　17－V45　仙台 **・個人　女子エペ**　第１位　小山　未来、 第２位　本間理紗子、 第３位　高柳りり花 **・男子サーブル**　第２位　管　稜弥 **・女子サーブル**　第３位　中島　彩乃 **第42回全国高等学校選抜フェンシング選手権大会** **北海道・東北予選会**（１/19～１/22 札幌市中央体育館） **・学校対抗　男子エペ**（佐々木、虻川、赤石、齋藤、鄭） 予選プール１勝２敗 34－V35田名部（青森）、29－V35一関第二（岩手）、 V44－33川俣（福島） **・女子エペ**（小山、高柳、本間、及川、松岡） 決勝プール０勝４敗 24－V34黒石（青森）、37－V42米沢興譲館（山形）、 24－V36一関第二（岩手） 27－V45聖霊女子（秋田） **・男子サーブル**（尾川、管、酒井、中條、吉村） 決勝プール０勝４敗 28－V45札幌光星（北海道）、26－V45 山形東（山形）、 40－V45秋田北鷹（秋田） 34－V45一関第二（岩手） **平成29年度　仙台市フェンシング選手権** （第５回フルーレ杯：３/10～３/11　秋保体育館） **・個人　女子フルーレ**　第３位　小山 未来、中島 彩乃
剣　道　部	**仙塩支部高校剣道大会**（５月12日～13日　宮城県武道館） **・男子個人戦** 菊地良将　５回戦敗退　　御代田浩佑　２回戦敗退 菅原颯真　２回戦敗退　　北山　拓　１回戦敗退 **・女子個人** 菅野なつみ　２回戦敗退　　三浦雪乃　２回戦敗退 鈴木　茜　３回戦敗退　　砂子ありさ　４回戦敗退 **・男子団体戦予選リーグ** １回戦　対仙台育英　１－４　負け ２回戦　対榴ヶ岡　３－０　勝ち 予選リーグ２位で決勝トーナメントへ トーナメント １回戦　対尚絅　２－０　勝ち ２回戦　対仙台　２－１　勝ち 準々決勝　対三高　０－２　負け **・女子団体予選リーグ** １回戦　対高専名取　２－０　勝ち ２回戦　対聖ドミニコ　１－２　勝ち 予選リーグ２位で決勝トーナメントへ トーナメント １回戦　対仙台　１－０　勝ち ２回戦　対一高　１－３　負け **県高校総体**（６月３日～５日　仙台市体育館）

部　名	活動実績（大会名・実績・選手名）
卓　球　部	**・女子シングルス** 髙橋（歩）　３回戦敗退　ベスト64
フェンシング部	**平成29年度第66回宮城県高等学校総合体育大会フェンシング競技**（６月２日～５日　気仙沼市総合体育館） **・男子個人エペ** 第１位　☆中塚新、第３位　＊大塚哲平 **・男子学校対抗フルーレ** （大塚、一條、中塚、長谷川、平塚）１回戦　４－V　仙台 **・女子個人フルーレ** 第２位　☆丸山想世可、第６位　角岡あかり **・女子個人エペ**　第２位　＊藤井香帆 **・女子個人サーブル**　第２位　＊丸山想世可 **・女子学校対抗フルーレ** 第３位　＊（角岡、角張、金、藤井、丸山） １回戦　V－４　仙台一、準決勝　２－V　仙台三、 東北大会代表決定戦　V－０　仙台 ☆印：インターハイ・東北大会出場権獲得 ＊印：東北大会出場権獲得 **平成29年度第55回東北高等学校フェンシング選手権大会** （６月23日～26日　気仙沼市総合体育館） **・男子個人エペ** 第２位　中塚　新　予選プール　４勝１敗 トーナメント２回戦　V15－７　阿部（山形東・山形） 準決勝　V15－14　大西（米沢興譲館・山形） 決勝　12－V15　藤澤（仙台城南・宮城） 第８位　大塚哲平　予選プール　２勝３敗 トーナメント１回戦　V15－７　菅野（川俣・福島） トーナメント２回戦　10－V15　藤澤（仙台城南・宮城） **・女子個人フルーレ**　丸山想世可　予選プール　３勝２敗 トーナメント１回戦　９－V15　畑山（秋田北鷹・秋田） **・女子個人エペ**　藤井香帆　予選プール　２勝３敗 トーナメント１回戦　８－V15　金子(米沢興譲館・山形) **・女子個人サーブル**　丸山想世可　予選プール　１勝４敗 **・女子学校対抗**　第３位（角岡、角張、金、藤井、丸山） １回戦　V－１　黒石（青森） ２回戦　V－３　米沢興譲館（山形） 準決勝　１－V　聖霊女子短付（秋田） **平成29年度全国高等学校総合体育大会フェンシング競技** （８月１日～４日　気仙沼市総合体育館） **・男子エペ**　中塚　新　ベスト16　予選プール　３勝１敗 トーナメント１回戦　V15－７　山田（大分豊府・大分） ブロック代表決定戦　７－V15　中島(慶應義塾・神奈川) **・女子フルーレ**　丸山想世可　予選プール　３勝２敗 トーナメント１回戦　12－V15　飴谷（水橋・富山） **平成29年度宮城県民体育大会フェンシング競技** （８月12日～13日　泉総合運動場体育館） **・団体フルーレ**　少年の部　女子　第２位 仙台二高Ａ（小山・金野・中島） **平成29年度仙台市民総合体育大会フェンシング競技** （10月７日～８日　秋保体育館） **・フルーレ個人** シニア男子　第７位　佐々木優斗、第８位　管　稜弥 シニア女子　第１位　高柳りり花、第８位　小山未来 ジュニア男子　第６位　鄭　俊、　第７位　赤石　丞 ジュニア女子　第２位　原　さくら、第８位　及川和花 **・フルーレ団体** 男子　第３位　仙台二高Ａ(佐々木、管、酒井、相澤、齋藤) ２回戦　V－３　仙台高Ａ 準決勝　２－V　仙台三高Ａ ３決戦　V－３　仙台三高Ｂ 女子　第１位　仙台二高Ａ(小山、中島、本間、佐藤、原) ２回戦　V－４　仙台一高Ａ 準決勝　V－４　仙台高Ａ 決勝　V－１　仙台三高Ａ **平成29年度宮城県高等学校新人大会フェンシング競技** （10月27日～29日　泉総合運動場体育館） **・個人対抗フルーレ男子** 第５位　佐々木優斗 第８位　管　稜弥 **・個人対抗フルーレ女子** 第２位　小山　未来 第４位　金野　眞子 **・学校対抗フルーレ男子** 第３位（佐々木、尾川、管、虻川、相澤） 準決勝　０－V　気仙沼、 シード順位決定戦　V－１　仙台 **・学校対抗フルーレ女子** 第３位（小山、金野、髙森、高柳、中島） １回戦　V－２　利府、準決勝　２－V　仙台、 シード順位決定戦　２－V　仙台一

部　名	活動実績（大会名・実績・選手名）
弓　道　部	**・男子個人**　澤口空良（12射７中）城戸悠介（12射６中） 県大会出場権獲得 **・女子個人**　伊藤理恵（12射８中）県大会出場権獲得 **宮城県高等学校新人大会弓道競技** （11月２～４日　宮城県弓道場） **・男子団体**　１次予選（20射９中）２次予選（20射10中） 準々決勝（20射６中）準々決勝敗退 **・女子団体**　１次予選（20射４中）２次予選（20射８中） ２次予選敗退 **・男子個人**　澤口空良　１次予選（４射２中） ２次予選（４射３中）２次予選敗退 城戸悠介　１次予選（４射１中）１次予選敗退 **・女子個人**　伊藤理恵　１次予選（４射１中）１次予選敗退
山　岳　部	**宮城県高等学校総合体育大会山岳競技** （６月３日～５日　中央蔵王） ・男子団体チーム出場 ・女子団体チーム出場 **宮城県高等学校新人大会山岳競技**（10月６日～８日　月山） ・男子団体チーム出場
ヨ　ッ　ト　部	**宮城県高校総体**（６月３日、４日　七ヶ浜町花渕小浜港） ○男子420級 ・仙台二高（岡田侃・吉田高天・赤坂泰知・白山遥基） 第１位　→　東北大会出場権獲得 **東北大会**（６月16日～18日　青森県むつ市 大平マリーナ） ○男子420級 ・仙台二高（岡田侃・吉田高天・赤坂泰知・白山遥基） 第１位　→　全国高校総体【インターハイ】出場権獲得 **国体予選**（７月15日～16日　七ヶ浜町花渕小浜港） ○少年男子420級 ・白山遥基／吉田高天　第６位 ○少年女子420級 ・大畑葵／川越瑞月　第３位 **全国高校総体【インターハイ】** （８月12日～16日　和歌山県和歌山市） ○男子420級 ・仙台二高（岡田侃・吉田高天・赤坂泰知・白山遥基） 第26位 **宮城県高等学校ヨット新人大会** （９月２日～３日　七ヶ浜町花渕小浜港） ○女子420級 ・仙台二高（大畑葵・川越瑞月）　第２位 ○男子レーザーラジアル級 ・白山遥基　第４位
ス　キ　ー　部	**第67回宮城県高等学校総合体育大会スキー競技会　オニコウベスキー場**　平成30年１月12日（金）～14日（日） 男子GSL　第４位　岩崎海斗　第９位　渡部新 第10位　瀬川凜　第11位　石橋賢 第12位　目黒淳之介　第13位　木村青空 DF　成田侑星 女子GSL　第４位　納谷世恵羅 男子SL　第５位　岩崎海斗　第８位　成田侑星 第９位　渡部新　第10位　石橋賢 第11位　瀬川凜　第12位　木村青空 第13位　目黒淳之介 女子SL　第４位　納谷世恵羅 （東北大会出場　岩崎海斗、成田侑星、納谷世恵羅） **第73回国民体育大会冬季大会スキー競技会宮城県予選会　オニコウベスキー場**　平成30年１月19日（金）～21日（日） 男子GSL　第５位　岩崎海斗　第12位　成田侑星 第13位　渡部新 DF（１本目）石橋賢 DF（２本目）目黒淳之介　瀬川凜 DG（１本目）木村青空 女子GSL　第３位　納谷世恵羅 （国体出場　岩崎海斗、納谷世恵羅） **第40回東北高等学校スキー選手権大会　大鰐温泉スキー場** 平成30年１月23日（火）～25日（木） 男子GSL　DF（１本目）岩崎海斗 女子GSL　第28位　納谷世恵羅 男子SL　第56位　岩崎海斗　第65位　成田侑星 女子SL　第25位　納谷世恵羅 **第73回国民体育大会冬季大会スキー競技会　新潟県妙高市** 平成30年２月25日（日）～28日（水） 男子GSL　第135位　岩崎海斗 女子GSL　第63位　納谷世恵羅 **第30回全国高等学校選抜スキー大会　長野県山ノ内町志賀高原** 平成30年３月17日（土）～20日（火） 女子SG　DF　納谷世恵羅 女子GSL　第77位　納谷世恵羅

部　名	活動実績（大会名・実績・選手名）
剣　道　部	**・男子個人戦** 星啓太郎　ベスト８（東北大会出場） 星航介　ベスト16 **・女子個人戦** 菅野なつみ　２回戦敗退 砂子ありさ　３回戦敗退 男子団体戦予選リーグ 対　迫桜　５－０ 対　志津川　４－０ 予選リーグ１位で決勝トーナメントへ 決勝トーナメント １回戦　シード ２回戦　対　佐沼　２－１　勝ち 準々決勝　対　東陵　０－３　負け　ベスト８ 女子団体戦予選リーグ 対　仙台青陵　４－１　勝ち 対　聖ドミニコ　０－３　負け　予選リーグ２位で敗退 **仙塩支部高校剣道新人大会**（８月20日　宮城野体育館） **・男子団体** １回戦　対　宮城広瀬　５－０ ２回戦　対　宮城第一　３－１ ３回戦　対　明成　１－２　ベスト８ **日本海旗争奪高校剣道大会** （10月８日～９日　酒田市営国体記念体育館） １回戦　対　酒田東高校（山形）　勝ち ２回戦　対　五所川原第一高校（青森）　勝ち ３回戦　対　中之条高校（群馬）　勝ち ４回戦　対　帝京長岡高校（新潟）　勝ち 準々決勝　対　小牛田農林高校（宮城）　敗退　ベスト８ 優秀校　優秀選手　細川皓市 **県新人大会**（11月10日～12日　大崎市田尻総合体育館） **・男子個人戦**　結城光太郎　３回戦敗退 細川皓市　１回戦敗退 **・男子団体予選リーグ** 対　石巻好文館　３－０ 対　学院榴ヶ岡　２－０ 予選リーグ１位で決勝トーナメントへ 決勝トーナメント ２回戦　対　白石　２－２ 代表者戦負け　ベスト16
柔　道　部	**第123回仙塩地区高等学校柔道大会**（平成29年４月30日） **・男子団体戦** 仙台二高三高西高合同チーム　対　東北高校（０－５負け） **・男子個人戦** 男子81kg級　佐藤×　１回戦　日野○<東北> 男子90kg級　米山×　１回線　佐藤○<塩釜> **・女子個人戦** 女子48kg級　楠×　１回戦　千葉○<東北> **第123回　仙台二高・仙台一高柔道定期戦** （平成29年５月20日　会場：仙台一高、種目：男子団体戦 （３人勝ち抜き戦　４分） 仙台二　②―0　仙台一 （先鋒）佐藤△＜技あり＞×(先鋒）松沢 （先鋒）佐藤○＜大外刈＞×(大将）天野 （中堅）米山 （大将）塗師　２人残し勝ち **第66回宮城県高等学校総合体育大会　柔道競技** **・個人** 男子81kg級 １回戦　佐藤（３年）●―○大貫（宮城農業） 男子90kg級 １回戦　米山（２年）○－●平野（黒川） ２回戦　米山（２年）●－○松崎（仙台育英） 女子48kg級 １回戦　楠（３年）●－○今野（柴田） 女子52kg級　菊地（２年）　棄権 **第67回宮城県高等学校柔道新人大会** **・個人** 男子90kg級 １回戦　米山（２年）●－○蜂谷（石巻工）
弓　道　部	**宮城県高等学校総合体育大会弓道競技大会仙塩地区予選会** （５月19、20日　宮城県弓道場） **・女子個人**　野村瑞雪（12射７中）　県大会出場権獲得 **宮城県高等学校総合体育大会弓道競技**（６月３～５日） **・男子団体**　１次予選（20射５中）１次予選敗退 **・女子団体**　１次予選（20射７中） ２次予選（20射６中）２次予選敗退 **・女子個人**　野村瑞雪　１次予選（４射３中） ２次予選（４射２中）２次予選敗退 **宮城県高等学校新人大会弓道競技仙塩地区予選会** （10月13、14日　宮城県弓道場）

部　名	活動実績（大会名・実績・選手名）
スキー部	女子GSL　第１位　納谷世恵羅 男子SL　第７位　目黒淳之介　第８位　石橋賢 第９位　瀬川凜 DF（１本目）渡部新　成田侑星 DQ（１本目）木村青空 女子SL　第２位　納谷世恵羅

部　名	活動実績（大会名・実績・選手名）
スキー部	女子SL　第56位　納谷世恵羅 **第57回宮城県高等学校スキー新人大会　オニコウベスキー場** 平成30年３月２日（金）～４日（日） 男子GSL　第６位　成田侑星　第７位　瀬川凜 第８位　石橋賢　第９位　目黒淳之介 第10位　木村青空　DQ　渡部新

部活動の記録／学芸部成績

部　名	成　績
美術部	**第28回読書感想画都道府県コンクール** 優秀賞　千葉かれん 優良賞　阿部帆花 **第28回読書感想画中央コンクール** 奨励賞　千葉かれん **第10回連合・ILEC幸せさがし文化展** 絵画の部　特別審査員賞　千葉かれん **第70回宮城県高等学校美術展覧会** 優秀賞　野呂歩加
社会部	**第61回　宮城県高等学校社会科生徒研究発表会**（11月９日　仙台二高） 優良賞　３年　澤谷一磨　「ＡＩと世界構造－『近代』の超克へ」 奨励賞　３年　皆川詩緒　「十八世紀の女性」 奨励賞　１年　北原和真　「北欧神話」
物理部	**第41回　全国高等学校総合文化祭**（８月２日～４日） ポスター（パネル）部門　文化連盟賞　「気柱共鳴実験にみる特異点について」　３年　畠山雄大　前田隆人 物理部門　文化連盟賞　「色のもつ光の熱変換率」　３年　今野正大　松崎太一 **第70回宮城県高等学校生徒理科研究発表会　物理部門**（11月２日） 物理部会長賞　「気柱共鳴間に存在する特異点」　２年　佐藤可惟　藤原駿介 物理部会長賞　「液体の種類と量の違いによるグラスハープの音の特性について」　１年　青山武玄　石川響輝　小倉誠　大原結真　本田圭一 優秀賞　「立体的な構造物に張られるシャボン膜の理論値からのずれ」２年　安藤一真 **物理チャレンジ2017 第２チャレンジ（全国大会）** 優良賞　２年　安藤一真 **第７回科学の甲子園みやぎチャレンジ**（10月21日） 総合第４位　筆記競技部門第１位 Aチーム 物理部・化学部・有志合同（安藤一真　大井一輝　大久保直哉　熊谷和紀　小松瑞季　中田雅貴） 総合第９位　Bチーム 物理部・地学部合同（青山武玄　石川響輝　小倉誠　大原結真　平岩諒　本田圭一）
化学部	**第41回　全国高等学校総合文化祭**（８月２日～４日）化学部門 文化連盟賞「金属析出における溶媒の影響について」３年 門間航輝 **第70回宮城県高等学校生徒理科研究発表会　化学部門**（11月２日） 化学部会長賞　「流電陽極方式を用いた電気防食における陽極の最適条件の検討」　２年　大井一輝　大久保直哉 優秀賞　「リン酸塩の研究」　２年　菅原幹生 優秀賞　「シリカゲル担持型触媒の可能性を探る」　２年　熊谷和紀　髙橋虎太郎　佐竹有理 優秀賞　「金属樹の研究」　２年　小松瑞希　川崎三葉 優秀賞　「実験室でできるアンモニアソーダ法の研究」　１年　澤野遼一　竹本綾子 **第７回科学の甲子園みやぎチャレンジ**（10月21日） 総合第４位　筆記競技部門第１位 Aチーム 化学部・物理部・有志 合同（安藤一真　大井一輝　大久保直哉　熊谷和紀　小松瑞季　中田雅貴）
生物部	**第41回　全国高等学校総合文化祭**（８月４日） 文化連盟賞　「光の条件を変化させた場合の硝化作用のモデル実験」 ３年　菅野千佳　３年　岩澤明香里　３年　笹島のどか　２年　勝又清馨 **第70回宮城県高等学校生徒理科研究発表会**（11月２日） 最優秀賞　「河川の自然浄化の研究（硝化作用の最適条件を探る）」 ２年　勝又清馨 **サイエンスキャッスル2017　関東大会**（12月23日） 口頭発表　「河川の自然浄化の研究（硝化作用の最適条件を探る）」　２年　勝又清馨
地学部	**第７回科学の甲子園みやぎチャレンジ**（10月21日） 総合第９位　Bチーム 地学部・物理部 合同（青山武玄　石川響輝　小倉誠　大原結真　平岩諒　本田圭一）
吹奏楽部	**第30回定期演奏会実施**（５月５日　東北大学川内萩ホール） **全日本吹奏楽コンクール第60回宮城県大会**（７月８日　イズミティ21） 高等学校の部　銀賞 **第51回アンサンブルコンテスト仙台青葉地区大会**（12月９日　東北福祉大学音楽堂けやきホール） フルート三重奏　金賞・県大会出場 クラリネット四重奏　金賞 サクソフォン四重奏　金賞 金管八重奏　金賞・県大会出場 **JBA主催第26回管打楽器ソロコンテスト南東北大会**（12月26、27日　仙台市宮城野区文化センター） 石井　美羽（２年　テナーサックス）　銀賞 長沼　子毓（２年　トランペット）　金賞 佐々木健心（１年　トロンボーン）　銀賞 関根　健人（１年　ユーフォニウム）　銅賞 三浦　琉（１年　マリンバ）　銀賞 **第51回アンサンブルコンテスト宮城県大会**（１月14日　イズミティ21） フルート三重奏　銀賞 金管八重奏　銀賞

部名	成績
合唱部	**第84回NHK全国学校音楽コンクール宮城県コンクール** 高等学校の部　奨励賞 **第29回宮城県合唱アンサンブルコンテスト** 高等学校の部　銀賞
囲碁部	**第11回全国高等学校囲碁選抜大会**（3月18日～20日　大阪商科大学） ・女子団体　第5位　主将：山崎真瞳子（3年）　副将：岩指南子（3年）　三将：青木絵莉子（3年） ・女子個人　九路盤　第5位　山崎真瞳子（3年） **第41回全国高校総合文化祭囲碁部門（県代表決定戦）**（4月16日　仙台一高） ・団体戦宮城県代表：加藤彩杜（3年）　平塚凜（3年）　山崎真瞳子（3年）　岩指南子（3年） ・男子個人戦宮城県代表：須藤秀隆（3年） ・女子個人戦宮城県代表：青木絵莉子（3年）　阿部帆花（3年） **第41回文部科学大臣杯全国高校囲碁選手権宮城県大会**（6月24日　仙台二高） ・男子団体　優勝　仙台二高　全国大会出場 主将：加藤彩杜（3年）　副将：平塚凜（3年）　三将：千葉直人（1年） ・女子団体　優勝　仙台二高　全国大会出場 主将：山崎真瞳子（3年）　副将：岩指南子（3年）　三将：青木絵莉子（3年） **第41回文部科学大臣杯全国高校囲碁選手権　宮城県大会** ・男子個人宮城県代表決定戦（6月26日　宮城一高） 加藤彩杜（3年）　優勝　個人戦　全国大会出場 ・女子個人宮城県代表決定戦（6月26日　宮城一高） 山崎真瞳子（3年）優勝　個人戦　全国大会出場 **第41回文部科学大臣杯全国高校囲碁選手権大会**（7月24日～26日　東京日本棋院） ・男子団体　全国第7位 主将：加藤彩杜（3年）　副将：平塚凜（3年）　三将：千葉直人（1年） **第41全国高等学校総合文化祭囲碁部門**（7月31日～　白石市） ・団体戦出場 加藤彩杜（3年）　平塚凜（3年）　山崎真瞳子（3年）　岩指南子（3年） ・個人戦出場 男子　須藤秀隆（3年） 女子　青木絵莉子（3年）　阿部帆花（3年） **第31回東北地区高等学校囲碁選手権大会**（つなぎ温泉） ・宮城県チーム　男子団体第2位　三将　千葉直人（1年） ・男子級位者戦　第2位　安田光希（1年）　女子級位者戦　第3位　佐藤琴音
将棋部	**第53回宮城県高等学校将棋選手権宮城県予選大会** ・男子団体 Aチーム　1位　1年　原　優太郎、川床　準太 2年　佐藤　達飛 Bチーム　3位　1年　中村　行則 3年　北原　正梧、橋本　靖治 Cチーム　3位　1年　大久保智哉、 2年　中田　雅貴 3年　菊地　竜司 ・男子個人 A級　2位　1年　古藤　裕樹　全国大会へ A級　5位　3年　北原　正梧 B級　8位　1年　大久保智哉 ・女子個人 3位　3年　菊地　雅子　全国大会へ **第30回高等学校将棋竜王戦宮城県予選** 4位　1年　中村　行則 5位　1年　古藤　裕樹　2年　熊谷　祐也　2年　佐藤　達飛 **みやぎ総文2017** 男子団体　（1年　原　優太郎、川床　準太、2年　佐藤　達飛）予選敗退 男子個人　1年　古藤　裕樹　予選敗退 女子個人　3年　菊地　雅子　決勝トーナメント進出　ベスト16 **第34回宮城県高等学校将棋新人戦** 男子個人　Aクラス　第2位　2年1組　佐藤達飛　全国大会、東北大会 男子個人　Aクラス　第4位　2年2組　熊谷優也　東北大会 男子個人　Aクラス　第5位　1年5組　古藤　裕樹　東北大会 男子個人　Aクラス　第6位　1年8組　中村　行則　東北大会 女子個人　第4位　1年3組　佐藤　琴音　東北大会 以上、5名が上位大会へ出場 男子個人　Aクラス　第6位　1年8組　原　優太郎
書道部	**ふれあい書画展**（8月12日～20日） 特選：長田実優　小池杏奈 **宮城県高校生選抜書展（毎日書道展）**（10月13日～18日） 特選：今野まいこ 秀作：長田実優 **66回宮城県高等学校書道展覧会**（12月4日～10日） 漢字部門　推薦賞（最高賞）石垣華子 金賞　割田梨奈　越後日向子 仮名部門　金賞　若森来実 篆刻刻字部門　特選　小池杏奈　今野まいこ **第12回高校生刻字展** 優秀賞　横山ハイジ　若森　来実
放送委員会	**第36回宮城県高等学校放送コンテスト新人大会**（11月9日） ・朗読部門 奨励賞　大塚　咲穂　千葉あおい

部　名	成　績
かるた愛好会	第41回全国高等学校総合文化祭みやぎ総文2017 百人一首かるた部門　宮城県代表　佐藤　知佳
クイズ研究会	ライオンスペシャル第37回全国高等学校クイズ選手権大会 4回戦敗退（米国ネバタ州）　佐藤　京／佐藤　琴音
国際理解関係	第52回国際理解に関する弁論大会（第64回国際理解・国際協力のための高校生の主張コンクール　宮城県予選） 宮城県知事賞　西野　麗華 第64回国際理解・国際協力のための高校生の主張コンクール 外務大臣賞　西野　麗華

会員訃報

（平成30年5月分まで）

平成13年
1／28　谷井　利夫殿　高17回
2／22　松本　寿昭殿　高6回

平成15年
10／5　佐藤　邦男殿　高3回

平成17年
11／27　中嶋　新二殿　中41回

平成19年
7　渡辺　生児殿　中47回

平成20年
赤石　正人殿　中47回
萱場　定次殿　中47回
小林　弘殿　中47回
鈴木　正吉殿　中47回
中村　昭三殿　中47回

平成21年
9　天江忠三郎殿　中47回

平成22年
4／16　宍戸　孝殿　高18回

平成23年
2／18　竹内　峯殿　高3回
6　菅原　隼人殿　中47回

平成24年
2／25　菊地　利郎殿　中42回
3／21　岡崎亀之助殿　中40回
8／10　熊谷　幹男殿　高2回
10／7　熊谷　俊雄殿　高3回

平成25年
1／4　石垣　辰夫殿　中47回
2　伊沢　英児殿　中47回
8／25　石田　潤一殿　中40回
9／14　川口　珠保殿　中45回
9／30　細越保太郎殿　高6回

平成26年
1／27　嶺　義一殿　高17回
2／26　大泉　邦彦殿　高3回
3　阿部　光雄殿　中47回
3／10　栄谷　嘉恭殿　高3回
5／31　小野　光朗殿　高24回
8／6　佐藤　雄一殿　高3回

平成27年
4／9　小池　裕殿　高4回
4／22　斉藤　忠殿　高12回
5　須藤　正昭殿　中47回
5／18　大衡　淳夫殿　中47回
6　砂金　晶殿　高3回
6／16　冨並　義宜殿　高21回
7／20　阿部　克己殿　高18回
10／2　佐藤　昌隆殿　高3回
10／5　赤尾　綱男殿　高1回
10／21　岡　征男殿　高13回
11／2　岩崎　栄殿　高2回
11／10　高橋　秀男殿　中46回

平成28年
坂本　昇造殿　中47回
西沢　泰二殿　中47回
1／8　油井　新殿　高5回
2／7　鈴木　敏明殿　高4回
2／13　中島　義隆殿　高18回
2／14　針岡　繁殿　中38回
5　目黒　伸一殿　高3回
6／9　澤村　豊殿　高2回
6／20　沼田　政志殿　高19回
7／16　八島　清晃殿　高5回
8　松田　武彦殿　中47回
8／26　千葉　豊殿　高17回
9／23　石井　実殿　中47回
9／30　山下　真宏殿　高12回
10／27　早坂　義信殿　高9回

11／6　尾形　本文殿　中47回
11／23　吉田　敦彦殿　高7回
11／28　岩渕　達志殿　高16回
12／21　大田　美鶴殿　中47回
12／28　泉田　昌孝殿　高2回
12／31　菅原　靖郎殿　中43回

平成29年
佐々木信男殿　中47回
1　坂元　晴雄殿　高9回
常盤　実殿　中47回
1／1　斉藤　克彦殿　高16回
1／5　佐々木正三殿　中32回
1／6　中畑　充亨殿　高4回
1／14　高橋　哲夫殿　高7回
1／24　大須賀　隆殿　高17回
1／31　木名瀬敏正殿　高1回
1／31　津田　敏夫殿　中40回
2／12　小川　澄殿　高4回
2／17　渋谷　美樹殿　高18回
2／28　熱海　進殿　高23回
3／2　阿部　高明殿　高22回
3／3　会田　正殿　高32回
3／24　石田　啓資殿　高3回
3／27　亘理向洋夫殿　中45回
4／9　川上　実殿　高4回
4／13　天野　政光殿　高14回
4／13　西村　治殿　高18回
4／18　千葉　力殿　高12回
4／19　伊藤　勲史殿　高11回
5　千葉　輝男殿　中47回
5／3　和田　稔殿　高8回
5／4　高橋　幸男殿　中47回
5／13　大泉幸一郎殿　高9回
6　奥野光一郎殿　中47回
6　町田　淳殿　高10回
6／3　中山　幹丈殿　中46回

6／7　阿部　信博殿　高2回
6／14　小島　正士殿　高1回
6／16　星　光一殿　高4回
6／20　千葉　建郎殿　高8回
6／20　日野三十四殿　高15回
6／28　田中　精二殿　高4回
6／29　柴崎　睦夫殿　中46回
6／30　丹野六石衛門殿　高17回
7／3　鈴木　信男殿　高1回
7／6　岩井　功殿　高7回
7／8　小野　晴夫殿　高16回
7／12　山下　正一殿　高18回
7／13　榊原　輝男殿　中44回
7／17　原　正行殿　高7回
7／28　松野　昭殿　高3回
8　阿部健太郎殿　高8回
8／4　瀬戸　淳一殿　高1回
8／5　庄子清右ェ門殿　高2回
8／12　伊沢　進殿　高11回
8／20　松谷　豊殿　高3回
8／21　近田　達夫殿　高7回
8／22　石川　寛殿　高13回
8／23　金子　保治殿　高21回
8／26　榊原　矩郎殿　高3回
8／26　宮崎　鉄男殿　高16回
9　戸石　四郎殿　中47回
9／8　蜂谷　真夫殿　高3回
9／30　星　卓次殿　高2回
10　秋本　英夫殿　中47回
10／5　大柳　二郎殿　高9回
10／7　大槻　盛紀殿　高11回
10／12　奥山　文夫殿　中44回
10／19　猪苗代　実殿　中45回
10／24　伊藤　文雄殿　高3回
10／29　鈴木　睦殿　高9回
10／30　阿部　昭男殿　中44回

11／4　島村　佳尚殿　高4回
11／4　菅原　光博殿　高22回
11／5　小泉　泰三殿　高13回
11／5　松岡　竹雄殿　高1回
11／18　小山喜三郎殿　高5回
12／5　大森　尚殿　高3回
12／18　越後　治朗殿　高11回

平成30年

1　本間　恒夫殿　中47回
1／7　木戸　三郎殿　中46回
4／6　小松　利邦殿　中38回

死亡日不明

伊勢　民夫殿　高6回
北目　健次殿
佐藤　洋殿

今春の人事異動

▼転出された先生方▲

若林　春日　主幹教諭（理科）（白石高校　教頭）
日野　慎一　教諭（英語）（宮城野高校）
大野　英子　教諭（英語）（角田支援学校教頭）
髙川　瑞生　教諭（数学）（佐沼高校（定））
小野木圭子　養護教諭（名取高校（定））
昆　清悦　事務次長（図書館資料奉仕部主幹）
佐藤　直美　主幹（塩竈市第二学校事務支援室主幹）
兼　塩竈市立玉川中学校主幹）
大久保哲平　非常勤講師（理科）（任期満了）
露木　薫　非常勤講師（理科）（任期満了）
品川　喜久　臨時業務補助（任期満了）

▼転入された先生方▲

久保　義洋　校長（地・公）（教職員課県立学校人事専門監）
馬目　弘泰　教諭（理科）（多賀城高校）
佐藤　徳顕　教諭（数学）（多賀城高校）
相原　光英　教諭（英語）（石巻好文館高校）
公平　優子　教諭（英語）（泉高校）
壹岐　康生　教諭（理科）（村田高校）
金野　智津　養護教諭（スポーツ健康課主幹）
市川　文浩　事務次長（美田園高校）
坂田美智子　主査（仙台土木事務所）
加藤かおり　非常勤講師（理科）（新規採用）
鈴木　隆男　臨時業務補助（新規採用）

▼昇任された先生▲

名倉　洋　主幹教諭（地・公）
齊藤　有美　主幹

▼退職された先生方▲

長島　勝彦　校長（数学）
吉原　満　教諭（数学）（再任用・仙台二高）
川名あつ子　教諭（英語）

仙台二高同窓会公式Ｗｅｂサイト活性化のお願い

毎月一度は、ホームページで、二高に帰ろう

http://sendainiko-dousoukai.com

2017 年 2 月のリニュアル以降、同窓会公式サイト（ホームページ）に各地からたくさんの情報が寄せられています。
支部総会の開催報告、クラブＯＢ会の開催結果、などを初め同窓生の活躍の紹介など、多彩な内容です。
今後とも皆様のご支援で公式サイトを盛り上げていただきたく、ご案内申し上げます。

「同窓会の公式Ｗｅｂサイトを同窓生のポータルへ！」
どうぞよろしくお願い申し上げます。

仙台二高同窓会メーリングリストの利用について

同窓会では、会員が相互に情報交換を行うために、メーリングリスト機能を利用しています。利用に当たっては事前登録が必要ですので、詳しくは下記ホームページをご覧下さい。
https://sites.google.com/site/sendai2dousoukai/
なお、「Yahoo」をご利用されていた方も、改めて「Google」での登録を行って下さい。

二高への交通の便＜仙台駅前から＞

▶仙台市営地下鉄（東西線）・・国際センター駅下車後徒歩約 4 分、運賃 200 円

▶仙台市営バス・・仙台駅前バスプール 16 番から 730、739 系統『二高・県美術館前』下車、運賃 180 円

▶仙台市営市内観光循環バス『るーぷる仙台』・・仙台駅前バスプール 15-3 番、運賃（1 回券）260 円、（1 日券）620 円。
（但し、瑞鳳殿、大橋、青葉山、八幡神社等とを大きく経由しています。）

編集後記

仙台二高は創立百二十周年を二〇二〇年に控え、昨年八月に学校、ＰＴＡ、同窓会が三位一体となって創立百二十周年記念事業実行委員会を立ち上げました。総務、式典、祝賀会、周年史作成、同窓会名簿作成の各委員会が始動しています。
更に活性化活動の成果として新年度から新たに九州支部が設立されました。四国北陵会も設立準備委員会を立ち上げて次年度からスタートを切ろうとしています。地道な活動の成果が芽吹いているように感じられます。
百二十周年記念事業の成功と同窓会の益々の活性化を図るために、今後とも皆様のご協力をよろしくお願いします。

遠藤　康浩（高41回）